

大崎市環境の状況に関する報告書

(令和5年度の取り組み)



令和●年●月

大 崎 市

目 次

1. 第2次大崎市環境基本計画の概要	P 2 ～ 6
2. アクションプランとは	P 7
3. アクションプランの取り組み状況	P 8 ～ 8 7
(1) 自然環境：誰もが誇れる自然環境をみんなで守る	
(2) 快適環境：心の豊かさを感じる快適環境を創る	
(3) 生活環境：安全・安心な暮らしを支える	
生活環境を確保する	
(4) 地球環境：地球に暮らす一員として行動し,	
地球環境を思いやる	
(5) 市民参画・協働：世代を超えて環境を学び, 伝える	
4. 参考資料（気温, 降水量等）	P 8 8 ～ 9 4

第2次大崎市環境基本計画の概要

- 1 基本的事項
- 2 計画の目標
- 3 基本的な方針及び施策（施策体系図参照）
- 4 環境配慮指針
- 5 計画の推進と進行管理

.....

望ましい環境像



第2次大崎市環境基本計画の概要

1 基本的事項

【計画の位置付け】

環境基本計画は、環境基本条例の基本理念にのっとり良好な環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定し、「第2次大崎市総合計画」を上位計画とした環境分野の基本計画として位置づけています。また、国及び県、市の各種計画との整合を図っています。

【計画期間】

計画の期間は、令和2年度から令和11年度としています。

【推進主体】

環境基本計画の推進に向けて、市民、事業者及び市の各主体が、それぞれの役割を分担して、協働で取り組みを進めていくこととしています。

2 計画の目標

【望ましい環境像】

豊かな自然や田園環境の中で人と自然が共に生き、健康的で持続可能な循環・共生型の社会の実現を目指す

【環境目標】

計画は、市民にとってわかりやすい計画で、かつ望ましい環境像を実現するため、対象となる環境の範囲と対応した体系として、環境分野（自然環境、快適環境、生活環境、地球環境、市民参画・協働）毎に目標を設定しています。

また、10年後の目標を達成することで、関連するSDGsの目標の達成に貢献しています。

- (1) 誰もが誇れる自然環境をみんなで守る【自然環境】
- (2) 心の豊かさを感じる快適環境を創る【快適環境】
- (3) 安全・安心な暮らしを支える生活環境を確保する【生活環境】
- (4) 地球に暮らす一員として行動し、地球環境を思いやる【地球環境】
- (5) 世代を超えて環境を学び、伝える【市民参画・協働】

3 基本的な方針及び施策 ※施策体系図参照

望ましい環境像や、環境分野ごとに10年後の目標を実現していくための基本的な方針、各方針に沿った具体的な施策を示しています。

4 環境配慮指針

自然的、社会的、経済的条件や土地の形状等の特性を考慮して、「田園地域」と「山間地域」の2つの地域区分に加え、特徴的な土地利用を進めて行く区域として、「広域交流拠点ゾーン」「地域生活拠点ゾーン」「自然環境保全ゾーン」を設定し、地域別・ゾーン別と「市民」「事業者」「市」の主体別の環境配慮指針を設定しています。

5 計画の推進と進行管理

【計画の推進】

（１）環境審議会

大崎市環境審議会は、大崎市環境基本条例第25条の規定に基づき、学識経験者などにより構成される組織です。市長の諮問に応じ、環境基本計画の策定及び変更に関する事項について審議を行うとともに、環境の保全及び創造に関する施策の推進について助言及び提言を行います。

（２）庁内組織

市は、施策の総合的な調整と推進を図るための庁内組織を中心として、各担当課を含む体制を整えます。

施策の総合的かつ計画的な推進のため、施策の進捗状況の点検・評価を行い、担当課間との調整・連携を図ります。

（３）協働による取り組みの推進

市民、事業者による自主的な活動や各主体の協働による取り組みが円滑に推進されるように、施策の実施と環境配慮指針の周知・浸透を図ります。

また、各主体の協働体制づくりを図っていくものとし、当面の期間において、市民及び事業者は自主的な活動の立ち上げと活動内容の充実を図る一方、市はこれらの自主的な活動に対する情報やノウハウの提供などを展開していくものとします。

（４）国・県・他地域との連携

大気汚染や水質汚濁，地球環境問題など広域的な取り組みが求められる課題への対応について，国や県，他地域と緊密な連携を図りながら，広域的な視点から環境施策に取り組みます。

【計画の進行管理】

本計画の進行管理は，計画（Plan），実施（Do），点検・評価（Check），見直し（Action）のサイクルにより，施策の進捗状況を毎年度点検・評価し，その結果を「環境の状況に関する報告書」としてとりまとめ，公表します。その結果を踏まえ，アクションプランについて毎年度見直しを行い，必要に応じて本計画の見直しを行うものとします。



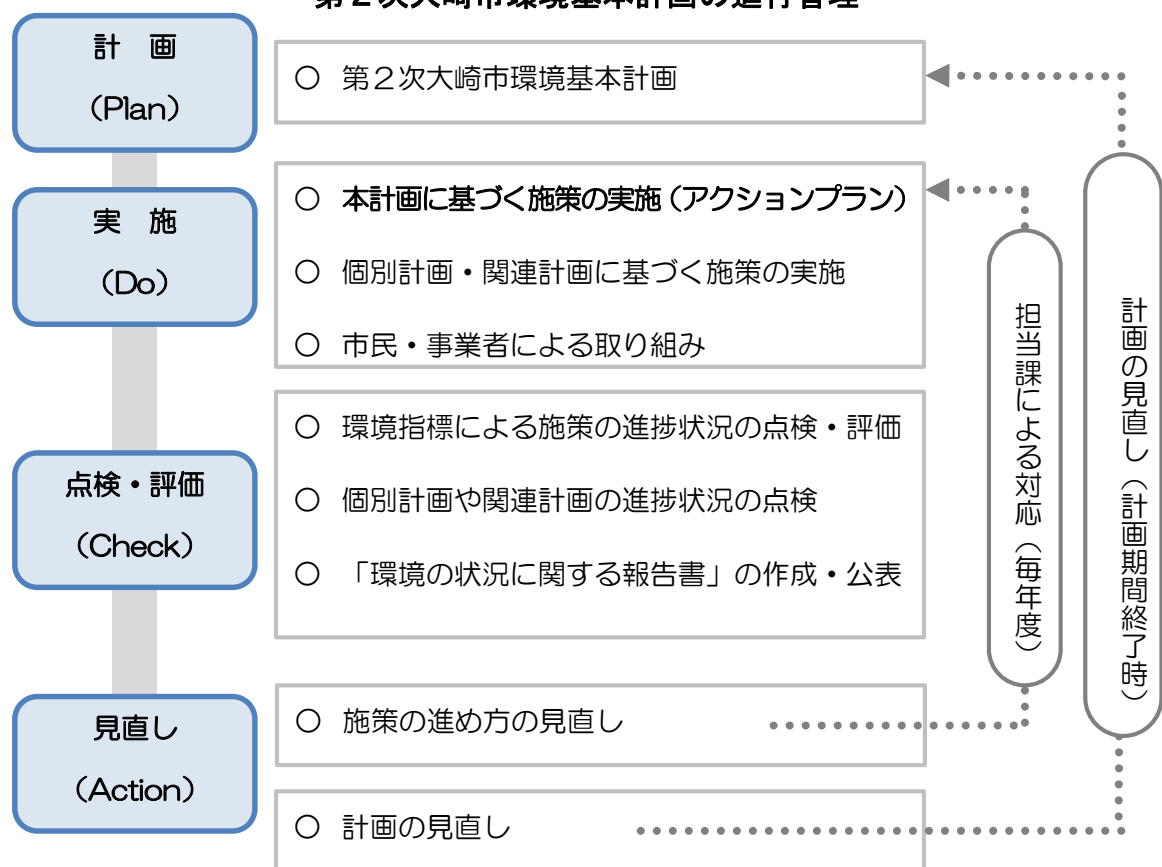
アクションプランとは

【アクションプランの目的】

「アクションプラン」とは、第2次大崎市環境基本計画に基づく施策の着実な推進を図るため、市民・事業者・市の各主体が、それぞれの役割を分担し、協働しながら、日々の生活において実際に取り組んでいく具体的な取り組みを示したものです。

「基本的な方針及び施策」では、望ましい環境像や環境分野ごとに、10年後の目標を設定し、具体的な施策を示しています。また、「計画の推進と進行管理」では、施策を実施するための“アクションプラン”を策定し、取り組みを毎年度、見直すことにしています。

～ 第2次大崎市環境基本計画の進行管理 ～



【アクションプランの内容】

アクションプランに掲載する事業は、各環境分野の施策の方向ごとに、目標を達成するための具体的な取り組み内容や成果指標を記載することとしています。

成果指標については、イベントなどを継続していくことを目標とする取り組みについては「継続」とし、実績値はあるが、人口減少などにより変動するものや現状を維持していくことを目標とする取り組みについては「維持」と記載しています。また、方向性を目標としている取り組みについては、「増加」や「減少」と記載しています。

アクションプランの取り組み状況

【成果指標の見かた】

1. 取り組み項目

担当課：〇〇〇課

成果指標： 成果の指標とする事項

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
最終の目標値				
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	当該年度の 目標値		下記の基準	

○評価の判定基準

評価	数値目標の達成率	評価の内容
A	80～100%	達成できた、ほぼ達成できた
B	50～79%	おおむね達成できた、現状維持
C	20～49%	やや不十分である、
D	0～19%	改善・見直しを要する

<評価判定の参考例>

(参考１) 単年度の達成数値を目標としているもの

成果指標： 〇〇件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和２年度～令和４年度）		
		令和２年度	令和３年度	令和４年度
100 件/年	60 件/年	70 件/年	65 件/年	75 件/年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和５年度	100 件/年	85 件/年	A	

A・・・年度目標値を達成（80%以上を達成）

B・・・年度目標値をおおむね達成（50%～79%）

C・・・年度目標値を未達成（20%～49%）

D・・・年度目標値と実績が乖離（0%～19%）

(参考２) 最終年度の達成数値を目標としているもの

成果指標： 〇〇整備率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和２年度～令和４年度）		
		令和２年度	令和３年度	令和４年度
100%	60%	65%	70%	75%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和５年度	80%	80%	A	

A・・・年度目標・個別計画どおりに進捗できた（80%～100%）

B・・・年度目標・個別計画より一部遅れた（50%～79%）

C・・・年度目標・個別計画より大きく遅れた（20%～49%）

D・・・年度目標・個別計画の進捗が図れなかった（0%～19%）

(参考3) 参加人数や回数を目標としているもの

成果指標： 〇〇参加者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,000人	600人	0人	100人	200人
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	500人	700人	A	

- A・・・目標値を達成（80%以上を達成）
- B・・・年度目標値をおおむね達成（50%～79%）
- C・・・年度目標値を未達成（20%～49%）
- D・・・年度目標値と実績が乖離（0%～19%）

(参考4) イベントなどを継続していくことを目標とするもの

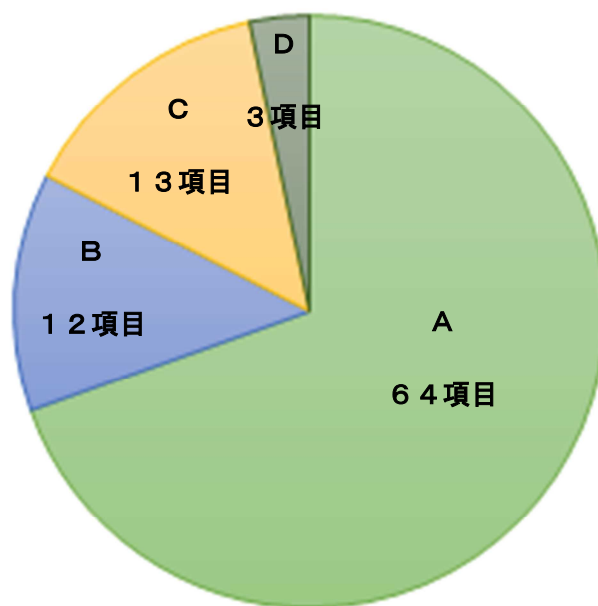
成果指標： 〇〇運動

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	2回/年	0回/年	0回/年	2回/年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	2回/年	2回/年	A	

- A・・・計画どおり実施できた
- B・・・計画したが、一部実施にとどまった
- C・・・計画したが、やむを得ない事情により実施できなかった
- D・・・計画の見直しが必要である

【環境分野別の評価一覧】

年 度	令和5年度（92項目）			
環境分野 \ 評価	A	B	C	D
自然環境	13	3	4	2
快適環境	7	2	4	0
生活環境	15	1	1	0
地球環境	12	4	3	0
市民参画・協働	17	2	1	1
計	64	12	13	3
（割合）	（69.6%）	（13.0%）	（14.1%）	（3.3%）



※次のページから分野ごとに取組状況を記載しています。

(1)【自然環境】誰もが誇れる自然環境をみんなで守る

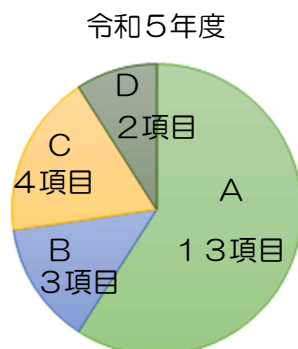
【10年後の目標】

- ・西部一体に広がる栗駒国定公園やラムサール条約湿地,「蕪栗沼・周辺水田」「化女沼」に代表される優れた自然環境が市民や来訪者の活動により保全されている。
- ・四季の移ろいや時間とともに変化する美しい自然環境が保たれている。
- ・数多くの里地里山を支える農林業や農地・森林を保全する活動等が活発に行われている。
- ・貴重な動植物,生物多様性を育むさまざまな形態の自然を守り,育てる活動が活発に行われている。

関連するSDGs目標



【成果指標の評価】



【所見】

「自然環境」分野では,特色ある豊かな自然や持続的な農村環境,森林の保全等について,NPOや地域の団体との協働により,良好な保全と利活用を図ることができました。

野生鳥獣の管理については,近年有害鳥獣による被害が深刻化しており,捕獲対策や侵入防止対策に取り組んできましたが,新たな対策としてイノシシを地域資源と捉え,利活用を図る「ジビエの郷づくり」に着手しています。人間と野生生物が共存できる環境の実現に向けて,引き続き有効的な取り組みを進めていくことが必要です。

参加人数や実施回数を成果指標としている事業については,新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け,従前の規模による開催のほか,休止を契機とした開催方法の見直しを行うなど,効果的な取り組みを図りながら活動促進につなげていきます。

① 特色ある豊かな自然環境の保全

1. ラムサール条約湿地及びその周辺の里地里山を含めた環境を保全するため、野火の実施や外来魚の駆除を行い、ガン類のねぐら環境の維持を図ります。

担当課：農政企画課・田尻総合支所地域振興課

成果指標： ふゆみずたんぼ取組面積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	18ha	10ha	13ha	14ha
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	14ha	14ha	A	冬期湛水に必要な圃場整備が完遂していない圃場がありましたが、令和4年度に増加した実施面積は維持できました。引き続き地域の生産組合と連携し、付加価値を付けた米づくりの実践とガン類のねぐら環境を維持していきます。

2. ラムサール条約湿地の保全活用に関わるNPO法人等と連携して、環境教育ゾーンを維持管理し、普及啓発イベントを実施します。

担当課：農政企画課

成果指標： ラムサール条約湿地の保全活用に係るイベント回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
6回	6回	6回	3回	1回
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	6回	2回	C	近年は地域団体による保全活用のイベントが主体となり、化女沼湿地・里山ボランティアによる維持管理作業を2回実施しました。今後もイベントの開催方法等を工夫しながら実施していきます。

3.「蕪栗沼・周辺水田」を保全し，環境教育活動の推進を図るため，マガンの里推進事業として，自然観察バスを市内の学校やNPO 法人等が行う自然観察ツアーに提供します。

担当課：田尻総合支所地域振興課

成果指標： おおさき自然観察バスの運行回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
25回	22回	22回	30回	24回
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	25回	25回	A	世界農業遺産担当と連携しながら，環境教育活動の推進を図っていきます。

② 持続可能な農村環境の保全

1. 地球温暖化防止や生物多様性の保全に積極的に貢献する、「環境保全型農業」に取り組む農業者を支援します。

担当課：農政企画課

成果指標：環境保全型農業直接支払交付金事業取組面積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	1,329 ha	1,177 ha	1,166 ha	1,006 ha
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	維持	1,010ha	B	取組面積及び交付金額は増となりました。自然環境の保全に配慮した環境保全型農業の更なる推進が必要であるため関係機関と連携し、市内全域でさらに推進を図り農家への支援を行っていきます。

2. 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。

担当課：農村環境整備課

成果指標：多面的機能支払交付金事業農用地内の認定面積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	10,073 ha	10,219 ha	10,246 ha	10,287 ha
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	10,271 ha	10,271 ha	A	農業者及び地域住民の参画を得て、地域ぐるみで効果の高い共同活動が実施されました。

3. 中山間地域において農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けて農業生産活動を維持するための活動を支援します。

担当課：農村環境整備課

成果指標：中山間地域等直接支払交付金事業実施組織数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	12 集落 (87ha)	12 集落(87ha)	12 集落(89ha)	12 集落(89ha)
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	12 集落 (87ha)	12 集落 (87ha)	A	生産条件の不利を補正することで、中山間地域の農地が適切に維持管理されました。

4. 「大崎耕土」に対する誇りの醸成を図るため、語り部育成の推進により世界農業遺産の知恵を継承します。

担当課：農政企画課

成果指標：世界農業遺産の知恵を継承する語り部育成人数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
50 人	— 人	12 人	48 人	142 人
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	50 人	100 人	A	市内公民館のほか、色麻町及び加美町公民館と連携し、大崎地域全域で語り部の育成に繋がる講座を開催しました。市内公民館：66 人参加（2 回開催）、色麻町及び加美町公民館 34 人参加（2 回開催）市民向けの研修会の開催や、公民館における研修会などの開催支援を通し、語り部の育成に繋がる取組を進めていきます。

③ 森林の保全・活用

1. 森林の有する多面的な機能を発揮させるため、適正な森林整備を図ります。

担当課：農村環境整備課

成果指標： 森林経営計画の計画数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
45 件	23 件	14 件	16 件	14 件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	45 件	16 件	C	<p>5 年を 1 期とする森林経営計画は、令和5年度は16件であり、まとまりのある森林の効率的な施業及び保護が図られているところですが、昨今の物価高の影響による木材需要の低迷等が、計画の策定数に影響していると考えられます。</p> <p>森林の持つ多面的機能を発揮させるためにも、森林所有者等に対しさらなる計画の策定を推進していきます。</p>

成果指標： 森林経営計画の認定面積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
9,100 ha	5,857 ha	6,476 ha	7,015 ha	6,947 ha
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	9,100ha	6,035ha	B	<p>認定面積は前年度と横ばいではあるが、効率的な森林の施業及び保護が図られています。</p> <p>森林の持つ多面的機能を発揮させるためにも、森林所有者等に対し計画の策定を推進していきます。</p>

成果指標： 市産材の使用材積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	242 m ³ /年	279 m ³ /年	290 m ³ /年	330 m ³ /年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	270 m ³ /年	320 m ³ /年	A	市産材の木造住宅の普及に繋がり、地域の林業振興及び木材産業の活性化につながっています。 二酸化炭素の固定による公益的機能の発揮やカーボンニュートラルの実現に寄与することから、木材利用の更なる拡大を図る必要があります。

2. 成熟期を迎えた人工林の再造林から保育施業の森林のサイクルを維持するため、林業事業体が行う森林整備（造林，下刈，除伐，間伐）を支援します。

担当課：農村環境整備課

成果指標： 里山林再生事業補助金交付件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	18 件/年	26 件/年	31 件/年	23 件/年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	31 件/年	21 件/年	B	8事業体による補助制度の活用により森林整備（造林，下刈，除伐，間伐）の促進が図られました。 施業放棄の解消と森林の多面的機能を発揮させていくためには、施業を実施する林業事業体の経営安定化を図る必要があります、引き続き支援が必要となります。

3. 森林の保全のため、マツ枯れやナラ枯れ被害木の伐採等を行い、森林病虫害の防除に努めます。また、竹害の拡大を防止するため、放置竹林の整備等を支援します。

担当課：農村環境整備課

成果指標： 防除材積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	15.44 m ³ /年	18.11 m ³ /年	11.82 m ³ /年	12.14 m ³ /年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	20.0 m ³ /年	23.10 m ³ /年	A	<p>病虫害による森林被害は、森林の公益的機能の低下につながることから、駆除及びまん延防止対策を講じ、松くい虫、ナラ枯れ被害の拡大を最小限に食い止めています。</p> <p>森林資源としての重要性から徹底した駆除・予防を図る必要があります。</p>

4. “おおさき地域材”を使用する木造住宅の普及を拡大するため、地域材を活用した新築木造住宅へ支援します。

担当課：農村環境整備課

成果指標： 助成対象者

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	15 人／年	17 人／年	18 人／年	21 人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	20 人/年	18 人/年	A	<p>建築会社等へのPRを実施し、利用者の増加と市産材の利用拡大を図りました。市産材の木造住宅の普及と地域の林業振興及び木材産業の活性化につながっています。</p> <p>二酸化炭素の固定による公益的機能の発揮やカーボンニュートラルの実現に寄与することから、木材利用の更なる拡大を図る必要があります。</p>

5. 大崎耕土に「潤い」をもたらす水源地域の森林を保全し、森林への理解を深めるため、市民参加型の植樹事業を行います。

担当課：農村環境整備課

成果指標： 市民の森づくり推進事業植栽参加者人数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	162 人／年	0 人／年	107 人／年	179 人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	150 人／年	151 人／年	A	<p>植樹会場を鳴子温泉鬼首字小向原地区から、鳴子温泉鬼首字吹上地区の市有林皆伐地へ変更するとともに、「おおさき未来の森づくり」として、市民から、県民に参加対象を拡大し、協働の森づくりに取り組みました。</p> <p>今後もNPO、企業、森林ボランティア団体などと連携しながら、一層推進し、森林の大切さの理解を深めていきます。</p>

④ 野生鳥獣の管理

1. 有害鳥獣（イノシシ、クマ等）の侵入による農作物被害を防止するため、ソーラー電気柵導入の支援や、鳥獣被害対策実施隊員の増員を図り、ICT（情報通信技術）も活用しながら、効率的に捕獲し、個体数の調整と農作物の被害を軽減します。

担当課：農村環境整備課

成果指標： 有害鳥獣捕獲頭数（イノシシ）

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	278 頭／年	690 頭／年	643 頭／年	373 頭／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	2,000 頭 ／年	881 頭 ／年	C	<p>大崎市鳥獣被害対策実施隊員の増員を図り、ICT技術を活用した捕獲を実施したことにより、昨年比236%の881頭の捕獲を行いました。個体数の増加を見込んだ目標設定としていますが、近年は豚熱の発生等により同水準での推移となっています。</p> <p>今後は国の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーを講師とした研修会の開催など、隊員の安全かつ効率的な捕獲の技術向上を図る取り組みを実施していきます。</p>

成果指標： 鳥獣被害対策実施隊員数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	117 人	130 人	151 人	164 人
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	163 人	A	<p>年々深刻化・広域化する有害鳥獣被害に対し、狩猟免許取得者が増えていることから、猟友会と連携し実施隊員の増員を図りました。</p> <p>今後は狩猟免許試験の周知や市内公民館施設を試験会場とするなど、免許が取得しやすい環境づくりに努め、狩猟免許取得者及び実施隊員の増員を図っていきます。</p>

成果指標： 有害鳥獣侵入防止対策ソーラー電気柵導入件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	55 件／年	239 件／年	116 件／年	121 件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	112 件／年	A	<p>有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、被害防止対策として効果の高いソーラー電気柵について導入を推進しました。</p> <p>今後は年々深刻化・広域化する農作物被害の対策として農業者等へ継続して支援を行っていきます。</p>

⑤ 外来生物の防除

1. ラムサール条約湿地を中心に貴重な動植物や湿地を保全するため、特定外来生物（オオクチバス・ブルーギル）やアメリカザリガニ等の調査及び駆除を行うとともに、シナイモツゴなど地域特有の在来生物の保全活動を支援します。

担当課：農政企画課

成果指標：「化女沼」における在来魚率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
17%	7%	10%	1%	7%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	11%	0%	D	ラムサール条約湿地「化女沼」における外来生物（オオクチバス、ブルーギル、アメリカザリガニ）の駆除及び調査を実施しました。これまでに駆除を行った結果、外来魚の捕獲数は減少していますが、一方で在来魚率が増えて来ない点について、専門家や関係機関と連携して精査してまいります。

⑥ 自然とふれあえる場・機会の提供

1. 多様で豊富な自然や景観を、教育旅行や様々な体験メニューとして提供し、地域の自然環境や環境問題への関心を高めます。

担当：観光交流課

成果指標：教育旅行受け入れ人数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
2,000人／年	565人／年	37人／年	211人／年	605人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	2,000人／年	371人／年	D	<p>コロナ禍の後遺症により、教育旅行受入人数が安定していませんが、SDGs学習の要望がある為、世界農業遺産の営みがSDGsの目標達成に関わっていることを推進していきます。</p> <p>また、海外からの教育旅行の受け入れのため、SNSによる国内外に対する情報発信や、旅行会社に対するプロモーションを展開し、更なる教育旅行受け入れ人数の増加を目指します。</p>

2. 都市農村交流、農村体験や研修を通じて、地域の歴史や自然に親しみ、市内外に魅力的な世界農業遺産資源を周知します。

担当：農政企画課

所見：みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会との連携、各種農村体験などの情報収集を図ったほか、居久根の保全管理に繋がる教育旅行プログラム要素を検討しました。検討においては、SDGs探求学習特化型プログラムと世界農業遺産「大崎耕土」のプログラムを連動させ、県外大学生を誘致した体験プログラムを実施し、情報発信を行いました。

3. 生物多様性の保全、活用の担い手となる児童生徒を育成するため、おおさき生きものクラブの環境学習プログラムを環境 NPO 法人と連携して実施します。

担当：農政企画課

成果指標：生きものクラブ延べ参加人数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
550 人／年	383 人／年	381 人／年	284 人／年	165 人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	550 人	269 人	C	<p>生きものクラブのプログラムを6回、開催しました。開催日に学校行事と重なったこともあり、参加人数が少ないプログラムもありました。</p> <p>学校行事等の日程を事前確認して、参加しやすい日程で実施していきます。</p>

4. ラムサール条約湿地を活用して、生物多様性などの教育の場、観察の場として普及啓発を図ります。

担当：農政企画課

成果指標：ラムサール条約湿地における環境教育利用回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
7 回／年	7 回／年	6 回／年	6 回／年	5 回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	7 回／年	6 回／年	A	<p>市民参加型の自然再生活動を実施し、教育や普及啓発の場として活用しました。開催方法等を工夫しながら実施していきます。</p>

5. レクリエーションの場、休養の場、自然と触れ合う場として、心に潤いを与える公園の維持管理を行います。

担当：建設課

成果指標：公園での事故発生件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
0件／年	0件／年	1件／年	0件／年	0件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	0件／年	0件／年	A	事故発生防止に努めながら公園の維持管理が実施できました。今後も安全で快適に公園を利用していただけるよう、施設の点検や計画的な修繕を行いながら適切な維持管理を行います。

(2) 【快適環境】心の豊かさを感じる快適環境を創る

【10年後の目標】

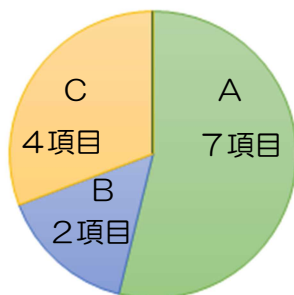
- ・身近に感じられる緑や水辺，山間地域の自然景観，田園地域を代表する居久根（いぐね）等の田園景観，都市部の市街地景観や，歴史的な建築物や街道・史跡周辺の景観等の保全・活用が図られている。
- ・大切に保存されてきた歴史・文化遺産は，住む人の心の拠りどころとなり，郷土愛や誇り，将来への継承のための機運を醸成している。
- ・自然・歴史・文化は，農地を含め，食，健康，教育，福祉，レクリエーション等のさまざまな分野で訪れる人の心に潤いを与えている。

関連するSDGs 目標



【成果指標の評価】

令和5年度



【所見】

「快適環境」分野では，緒絶川周辺地区の整備が完了し，また世界農業遺産「大崎耕土」の伝統的な農文化や特徴的な景観を保全する活動が展開されました。

空き家については，適正に管理されていない空き家に関する相談件数が増加しており，今後も適切な管理や有効活用を推進するほか，空き家を生み出さないための啓発活動にも取り組んでいく必要があると考えています。

また，課題となっている不法投棄は，件数が増加しており，今後も関係団体と連携し，監視体制の強化や更なるモラルの向上へつなげていく必要があります。

① 緑や水辺の保全と創造

1. 環境負荷軽減に向けた低炭素社会を構築するため、グリーンカーテン講座を行い、ゴーヤとアサガオの苗を配付します。

担当：環境保全課

成果指標： グリーンカーテン講座の受講者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
40人／年	20人／年	20人／年	17人／年	20人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	40人／年	18人／年	C	<p>講座の参加者は、グリーンカーテン初体験の方と過去に実践した方の半々程度でした。具体的な育てかたの説明を行いました。</p> <p>今後は家庭での取り組みに加えて企業や地域団体へも、楽しみながらできる地球温暖化対策として、普及を図っていきます。</p>

2. グリーンカーテンを設置する公共施設を増やします。

担当：環境保全課

成果指標： グリーンカーテンを設置している公共施設数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
45 件	38 件	34 件	39 件	32 件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	45 件	25 件	B	適切な設置場所や生育にかける時間の確保が難しいことなどから、継続施設は7件減少しました。 公共施設は多くの市民が訪れるため、高い啓発効果が得られますので、引き続き設置場所の確保に努めます。

3. 化女沼の自然環境を学習する環境教育ゾーンとして、植林や湿地の再生を図り、教育の場、観察の場として普及啓発を実施します。NPOやボランティアと連携し維持管理を行います。

担当：農政企画課

所見：近隣小中学生や企業からの参画を得て、維持管理を実施しました。引き続き、市民等に呼びかけるとともに、企業との連携協定やおおさき GIAHS・SDGs パートナー制度を通じて、市内外から多様な協力を呼びかけ、活動を継続していきます。

4. 蕪栗沼で野火による湿地植生の維持を行い、湿地環境を保全します。

担当：農政企画課

所見：陸地化の緩和と湿地植生の保全を図るため、3月に地元消防団・NPOと連携して野火を実施しました。

② 景観の保全と創造

1. 世界農業遺産として認められた田園景観を保全するため、居久根のある風景の保全に向けた仕組みをつくります。

担当：農政企画課

所見：居久根の保全については、令和3年度に大崎市居久根景観保全活用モデル事業補助金を創出し、地域と協働しているところであるが、令和5年度にはCSRや教育機関の体験学習の場として、地域外からの協力を得ながら保全活動を行っている。また、企業との連携協定やおおさき GIAHS・SDGs パートナー制度を通じて、市内外から多様な協力を得るための仕組みづくりができた。

2. 「都市と自然と歴史が調和した大崎の景観づくり」の実現に向け策定した大崎市景観計画及び大崎市景観条例に基づき、市民・事業者・行政の協働のもと、大崎市らしい良好な景観形成へつなげます。

担当：都市計画課

所見：令和3年3月に「大崎市景観条例」を制定し、令和3年10月1日から施行しています。「大崎市景観計画」との一体的な運用を図りながら、良好な景観の保全・形成につなげる取組として景観まちづくりセミナーを開催しました。

3. 立地適正化計画で、居住誘導区域内への居住を誘導することにより、田園地域での無秩序な開発を抑制し、美しい景観を形成している農地や森林の消失を防ぎ自然環境の維持・保全を図ります。

担当：都市計画課

所見：都市・地域中心部に居住誘導が進めば、空き家や空宅地が減少し、良好な居住環境が創出されるとともに、地域活動等を担う人材が確保されやすくなり、地域コミュニティの維持が容易となります。また、田園地域での無秩序な開発が抑制されることで、美しい景観を形成している農地や森林の消失の抑制を行います。

4. 緒絶川周辺地区を歩いて楽しめる空間にするため、まち並みと調和する石畳風舗装や安全性を高める誘導灯を整備します。また、人々が集まり賑わいを生む親水広場を整備します。【令和4年度で事業完了】

担当：都市計画課

成果指標： 緒絶川周辺地区の道路環境整備事業進捗率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	64%	69%	80%	100%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
【令和4年度で事業完了】				

③ 空き家等の適切な管理，有効活用の推進

1. 空き家バンクへの登録を促し，空家の有効活用を通して定住促進により地域の活性化を図ります。

担当：環境保全課

成果指標： 空き家バンク登録件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	5 件／年	13 件／年	10 件／年	10 件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	20 件／年	26 件／年	A	<p>空き家相談会や空き家セミナー，個別相談対応等により制度の周知に努めました。また，登録物件が増えることで希望者のニーズに合った選択肢を提供できる可能性が広がりました。</p> <p>引き続き，制度の周知に努めるとともに，民間との連携を進め，登録促進を図ります。</p>

2. 適正に管理されていない空き家等が増え，生活環境や地域社会の安全・安心が脅かされないよう，所有者に改善を求めます。

担当：環境保全課

所見：現地確認後，所有者へ適正管理通知や電話連絡を実施し，改善が見られない場合は訪問を行うなどして適正な管理を求めました。随時，所有者へ呼びかけを行っていきます。

3. 危険な空家等の除却に要する経費について、所有者に除却費補助金を交付することで、速やかな除却を促します。

担当：環境保全課

成果指標： 危険空家等除却費補助金交付件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	9件／年	3件／年	5件／年	2件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	10件／年	8件／年	A	空家問題への関心の高まりから、相談・申請件数が増加しています。 個別の相談に対応しつつ、危険な空家等の除却を推進していきます。

4. 空き家の実態調査を実施し、現状を把握したうえで、空き家の利活用や除却の戸数増加につなげます。

担当：環境保全課

成果指標： 空き家の実態調査率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	— %	100%	100%	100%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	100%	100%	A	令和2年度の調査結果を基に、優先して危険空家等の現地確認を行いました。 所有者への適正管理を呼びかけながら、地域と連携して実態把握に努めます。また、令和3年度に策定した第2次大崎市空家等対策計画に基づき、発生予防と解消に向けた施策を展開し、空き家の抑制につなげていきます。

5. 居住誘導区域内の居住を推進し，都市・地域中心部の空き家の有効活用を促進します。

担当：都市計画課

所見：大崎市立地適正化計画に基づき，都市や各地域の中心部への居住の誘導により，空き家の有効活用を促進し，快適で持続可能な集約型市街地の形成を図っていきます。

6. 移住希望者の住宅確保のため，空き家の活用を図ります。

担当：建築住宅課

成果指標： 賃貸可能物件登録数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	8 件	15 件	15 件	16 件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	20 件	A	<p>助成制度の利用促進を図る目的で令和2年度に要綱改正を行い，令和3年度から改正後の要綱で運用しています。</p> <p>また，新たに SNS の活用のほか，道の駅等でポスターの掲示やチラシの設置等で事業の周知を図りました。</p> <p>引き続き，市ウェブサイト，SNS 等の活用やポスターの掲示やチラシの配布で制度の周知を図っていきます。</p>

④ ごみの不法投棄対策の推進

1. 不法投棄されやすい場所に、不法投棄防止用警告看板等を設置し、不法投棄のない地域を目指します。

担当：環境保全課・各総合支所地域振興課

成果指標： 不法投棄相談件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
減少	156 件／年	155 件／年	135 件／年	137 件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	145 件／年	157 件／年	C	不法投棄禁止看板等の設置や公衆衛生組合等の巡回を実施しています。地域の関係団体と連携して、件数の減少を図ります。

⑤ 歴史・文化の保全，継承

1. 「世界農業遺産 大崎耕土」の副読本を活用し，大崎耕土に対する誇りの醸成を図ります。

担当：農政企画課

所見：副読本は，令和元年度から大崎地域1市4町の小学3～6年生の児童へ配布し，様々な教科の授業で活用されています。また，活用の幅を広げるため，教員向けに各学校の副読本の活用方法をまとめた学習プランを作成し，送付しています。今後も教育現場との連携を図り，現場の意見を踏まえながら，さらなる大崎耕土の教育の充実を図っていきます。

2. 国指定文化財「旧有備館および庭園」などの指定文化財を大崎市の宝として適切な保存と活用を行いながら，後世に引き継ぎます。

担当：文化財課

所見：旧有備館および庭園にて，岩出山地域の文化や歴史を知る展示会やイベント等を開催し，広く市民に紹介するとともに文化財愛護を図ることを目的に企画展を行いました。（夏季企画展「近世岩出山の礎を築いた家康と政宗展」，秋季企画展「有備館のあゆみ-国指定90周年記念-」）

3. 文化財出前講座や歴史学習，講演会等へ講師を派遣し，文化財の魅力を伝え，郷土への理解と愛着をはぐくみます。

担当：文化財課

成果指標：文化財出前講座等の件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	72件／年	46件／年	26件／年	26件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	33件／年	A	講師派遣・事業協力等について，派遣と協力を行いました。（出前講座3件，講師派遣30件） 小・中学校の郷土史学習を支援し，公民館や図書館等の生涯学習機関と連携しながら学習の機会を提供する活動に取り組んでいきます。

4. 文化財の調査や新たな指定を行い、文化財所有者・保護団体等を支援し、文化財の保存と継承を図ります。

担当：文化財課

成果指標： 新たな文化財の指定件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	1件	3件	0件	1件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	0件	B	新たな指定に向けた詳細調査を進めている状況です。引き続き、文化財としての価値が認められるものについて、指定に向けて調査を行っていきます。

5. 文化財の説明板や標柱の新設や修繕を行い、魅力ある地域の歴史を伝える環境づくりを行います。

担当：文化財課

成果指標： 文化財説明板や標柱設置

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	13件	11件	8件	13件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	7件	A	文化財の理解と周知を図り、その認識と保護の普及・啓発を推進するため説明板等の新設、修繕を実施しました。 （標柱：新設2件・建替え1件、説明板：修繕3件、案内板：修繕1件） 文化財に対する認識と理解を深める目的と、適切な保存管理のため、指定文化財や埋蔵文化財等に説明板や標柱の設置を行っていきます。

6. おくのほそ道を魅力的な遊歩道として整備し、「歩こう！！おくのほそ道」を開催します。文化学習や健康づくりの場並びに観光資源として活用しながら、文化財を後世に引き継ぎます。

担当：教育部鳴子公民館

成果指標： 「歩こう！！おくのほそ道」イベント開催回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和２年度～令和４年度）		
		令和２年度	令和３年度	令和４年度
継続	２回	１回	１回	１回
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和５年度	２回	２回	A	<p>7月14日におくのほそ道を各公民館事業でも活用してもらえよう市内各公民館職員等を対象に「乗ろうよ！陸羽東線&出羽街道中山越おくの細道ウォーク」を開催し24人の参加がありました。</p> <p>9月30日に「乗ろうよ！陸羽東線&歩こう！！おくのほそ道」を開催し、市内外から16人の参加がありました。講師の説明に耳を傾けながら約6キロのコースを歩きました。</p> <p>今後もイベント等を通じて日本文学を育む環境に触れる機会を提供し、おくのほそ道の魅力を広く発信していきます。</p>

7. 鳴子温泉地域の源泉を計画的に整備し、安全に安定的に温泉を供給し、温泉観光地として産業全体の振興に寄与するとともに、地域住民の健康維持等にも貢献します。

担当：鳴子総合支所地域振興課

成果指標： 鳴子温泉地域の観光入込者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
253 万人 ／年	175 万人 ／年	106 万人 ／年	95 万人 ／年	115 万人 ／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	253 万人 ／年	121 万人 ／年	C	<p>指定管理者において、源泉の維持管理を定期的を実施し、温泉の安定供給に努めることで、温泉観光の推進と地域産業の振興を図りました。</p> <p>引き続き源泉の維持管理を行うと共に、機能が低下している市有源泉については改修し、機能の回復を図るとともに、後進の育成により持続可能な温泉事業を推進します。</p>

⑥ 地産地消の推進

1. 「世界農業遺産 大崎耕土」の副読本を活用し、家庭・地域・学校を通して、食と農に対する理解を深め、地場産給食の実施により食農教育・食文化の推進継承を図ります。

担当：農政企画課

成果指標： 学校給食における地場産野菜などの利用品目の割合

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
26.0%	22.8%	21.5%	19.4%	17.3%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	26.0%	16.5%	C	市内食材の納入業者が減少したことにより減少しました。今後は、地元農協から学校給食に地場産の野菜を活用し、地産地消の推進を図ります。

（３）【生活環境】安全・安心な暮らしを支える生活環境を確保する

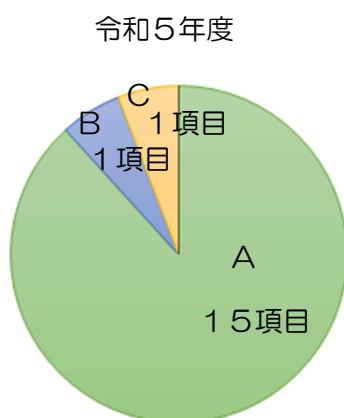
【10年後の目標】

- ・ 日常の生活や業務活動において、環境保全の意義や有用性が理解され、それぞれの主体的な取り組みのもと、大気汚染、水質汚濁等の環境への負荷の低減が図られている。
- ・ 居住環境の質の向上が図られ、誰もが良好な環境のもとで、快適性、安全性を実感しながら日々の生活を送っている。

関連するSDGs目標



【成果指標の評価】



【所見】

「生活環境」分野では、身近な環境への影響を把握するため、水質や騒音、放射能等の各種調査を実施し、それぞれの変化の状況を把握しました。騒音、振動については、引き続き管理者と情報共有し、連携した低減への取り組みが必要です。

また、衛生的な水環境の保全を図るため、個別計画に基づく排水路や下水道施設等の整備を実施しています。引き続き、計画的な整備を行い、生活基盤の環境整備と環境負荷への軽減に取り組んでいきます。

全体的に目標に向けた進展が見られましたが、更なる安全・安心へつなげていくため、安定的な取り組みを目指していきます。

① 大気環境の保全

1. 公害の発生を防止するため、酸性雨（雪）調査を継続して行い、安全で快適な生活環境を確保します。

担当：環境保全課

成果指標： 公害防止のために行う酸性雪調査測定

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	令和6年1月17日から2月14日に調査を行った結果、pH5.7～7.1であり、今後も推移を把握するため、調査を継続していきます。

② 水環境の保全

1. 公害の発生を防止するため、公共河川の水質検査を継続して行い、安全で快適な生活環境を確保します。

担当：環境保全課

成果指標： 水質の環境基準達成率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	61%	57%	54%	61%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	66%	59%	A	市内河川の54箇所(環境基準該当は36箇所)を調査した結果、32箇所において環境基準を達成しました。 今後も継続して推移を調査していきます。

2. 水路や排水路を整備し、雨水や生活排水の円滑な処理と衛生的な環境整備を行います。

担当：建設課

成果指標： 排水路改良工事事業進捗率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	44%	47%	51%	53%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	62%	59%	A	排水路整備により排水能力が向上し、周辺環境の改善が図られました。また、今後は雨水や生活排水の円滑な処理と衛生的な環境整備のため、排水路整備計画により整備工事を継続実施していきます。

3. 流れが悪く滞った状態を解消するため、水路や排水路の調査及び測量・設計・工事を実施し、浸水被害を軽減します。

担当：建設課

成果指標： 排水路改良工事業浸水対策事業進捗率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	66%	55%	56%	64%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	75%	72%	A	排水路整備により流れが悪く滞った状態が解消され、雨水排水の円滑な処理が行われました。また、今後は排水路整備計画により整備工事を継続実施していきます。

4. 河川環境を保全する活動を促進するため、地域住民が行う草刈りなどの河川維持管理活動を支援します。

担当：建設課・各総合支所地域振興課

所見：地域ごとに、状況に応じた支援を行いました。

5. 水道水の有効な利用を図るため、啓発活動や水環境教育を推進します。

担当：経営管理課

成果指標： 水道施設見学・出前講座の参加者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	394 人	30 人	42 人	144 人
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	400 人	318 人	B	コロナ前よりは少ないが、徐々に参加人数は増加しています。 今後、子供たちの人口減少を見据えて、小学生以外の施設見学を広めて、啓発と水環境教育の推進を進めていきます。

6. 快適な生活を支えるため、水道施設の適正な管理や更新に努めて安全で良質な水道水を供給します。

担当：上水道施設課

成果指標： 水道施設の耐震化率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
61%	—	45%	50%	51%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	51%	51%	A	令和6年度より実施予定の更新工事の詳細設計業務を行いました。引き続き、施設耐震化計画に基づき、地震災害時に浄水・給水機能を確保し、水道水の安定供給を可能とする水道施設の耐震化を進めていきます。

7. 公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を行い、生活環境の向上を図るため、公共下水道の整備を行います。

担当：下水道施設課

成果指標： 公共下水道全体計画区域内の污水管渠整備率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
68.4%	63.3%	63.4%	63.7%	64.0%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	66.2%	64.2%	A	<p>污水管渠整備について、整備率の低い古川処理区を中心に計画どおり進捗できました。</p> <p>今後も公共下水道事業計画に基づき污水管渠整備を継続実施し、水質保全及び生活環境向上を図っていきます。</p>

8. 農業集落排水区域の水質保全及び良好な生活環境を維持するため、機能低下や劣化している農業集落排水施設の改修（更新）を行います。

担当：下水道施設課

成果指標： 農業集落排水施設の改修完了地区数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
7 地区	5 地区	5 地区	5 地区	6 地区
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	6 地区	6 地区	A	<p>荒谷地区の強靱化（改築・長寿命化）に向け、機能診断調査を実施しました。</p> <p>今後も農業集落排水施設の強靱化を継続実施し、安定した汚水処理機能の維持、水質保全及び生活環境向上を図っていきます。</p>

9. 公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を行い、生活環境の向上を図るため、公共下水道事業計画区域及び農業集落排水事業区域以外の一般住宅等への公設浄化槽の整備を行います。

担当：下水道施設課

成果指標： 公設浄化槽整備率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
86%	55.3%	58.9%	62.6%	65.7%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	72.8%	68.0%	A	公設浄化槽整備を計画どおりに進捗できました。 今後も循環型社会形成推進地域計画に基づき公設浄化槽整備を継続実施し。水質保全及び生活環境向上を図っていきます。

③ 騒音、振動の低減

1. 生活環境の保全を図るため、騒音規制法の規定に基づき、道路に面する地域における自動車騒音の状況調査を行い、管理者と調査結果を情報共有し、連携して低減に努めます。

担当：環境保全課

成果指標： 自動車騒音の環境基準達成率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	93.7%	93.9%	94.2%	92.5%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	93.6%	92.6%	A	法律の規定範囲の7,908戸を調査した結果、7,319戸が基準値以下となり、継続して調査を行っていきます。

2. 新幹線沿線地域における環境基準の達成状況を把握するため、新幹線鉄道の騒音・振動測定調査を行い、管理者と調査結果を情報共有し、連携して低減に努めます。

担当：環境保全課

成果指標： 騒音・振動・低周波音の環境基準値等

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
基準値等の範囲	騒音，低周波音 レベル超過	騒音，低周波音 レベル超過	騒音，低周波音 レベル超過	騒音，低周波音 レベル超過
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	騒音， 振動， 低周波音 基準等未満	騒音， 低周波音 レベル超過	C	4箇所において測定を実施した結果、最も高い値で、騒音は77デシベル(基準値超過)、振動は59デシベル(指針値未満)、低周波音は100デシベル(参照値超過)であり、結果を踏まえて低減に向けた管理者への申入れを行っていきます。

④ 地盤沈下，土壤汚染の防止と悪臭の低減

1. 公害の発生を防止するため，地盤調査を継続して行い，安全で快適な生活環境を確保します。

担当：環境保全課

成果指標： 一級水準測量の測定値

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	−26～+3 mm	−6～+2 mm	−9～+1 mm	−14～±0 mm
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	下限 −10mm	−9～+1 mm	A	一級水準点19点，一等水準点4点における地盤の測量を行い，各水準点における変動を確認し，大きな変化が確認されませんでしたので，引き続き調査を行っていきます。

2. 悪臭により生活環境を損なうおそれがある場合は，事業所の立ち入り調査を行います。

担当：環境保全課

所見：苦情や相談をいただいた都度，現地確認を行い，原因者が特定できる場合は，改善するよう注意喚起を行いました。引き続き，速やかな対応に努めます。

3. 安全・安心な生活環境を確保するため，事業者の活動に起因する公害の発生を公害防止協定などにより抑制します。

担当：環境保全課

所見：事業者から提出された協定に基づく報告書において，生活環境等の保全状況を確認しました。事業者に定期的な報告を求めながら，公害発生防止に努めます。

⑤ 放射性物質への対応

1. 東京電力福島第一原子力発電所に由来する放射性物質による環境汚染が人の健康または生活環境に及ぼす影響を速やかに低減します。

担当：防災安全課

成果指標： 空間放射線量測定箇所数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	294 箇所	294 箇所	257 箇所	216 箇所
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	維持	216 箇所	A	<p>居住区域及び学校等の施設において、空間放射線量の測定を行い、測定結果を市ウェブサイト公表しました。測定箇所数は減少していますが、重複して測定していた施設の集約化を図ったものであり、実質的な測定実施については維持しています。</p> <p>市民の不安解消に繋げるため、継続的に放射線量の測定継続を行っていきます。</p>

2. 空間放射線量測定や市民持込みによる食品等放射性物質簡易測定を継続的に実施し、測定結果を公表することにより、市民の不安解消を図ります。

担当：防災安全課

成果指標： 市民持込み食品等放射性物質簡易測定

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	76件／年	97件／年	87件／年	43件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	維持	37件	A	<p>持ち込み件数は減少していますが、年間を通じて測定申込を受け付け、測定結果を市ウェブサイト公表し、市民の食品に対する安全性の確保を図りました。</p> <p>引き続き、市民の安全・安心を最優先に簡易測定業務に取り組んでいきます。</p>

3. 福島第一原子力発電所の事故により、広範囲に拡散した放射性物質の状況を把握するため、側溝泥土等の放射性物質濃度測定を継続して実施します。

担当：環境保全課

所見：51箇所の検査を行い、その検査結果については、市ウェブサイト等で公表するなど、市民に情報提供を行いました。また、測定値は、国の基準値（8,000Bq/Kg）を下回っており、側溝清掃作業の安全性を確認できましたので、継続して測定していきます。

4. 福島第一原子力発電所の事故により汚染された農林業系汚染廃棄物の焼却処理に伴う焼却灰の適正な処理体制により、地域の安全・安心を確保します。

担当：環境保全課・農政企画課

成果指標： 福島第一原子力発電所の事故により汚染された農林業系汚染廃棄物の焼却処理

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
2,900 t	0 t	414 t	826 t	1,246 t
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	333 t (累計 2,900t)	334 t (累計 1,580t)	A	本年度の目標数量を上回る334 tの処理を行い、累計で1,580 tを処理いたしました。また、地域協議会へ処理状況を報告し、意見交換等を行いました。 引き続き、適格な監視体制を確保し、市民の安全・安心を最優先に取り組んでいきます。

5. 一般廃棄物として市町村が処理できない、放射能濃度8,000Bq/Kgを超える廃棄物についての早期処分を国に働きかけていきます。

担当：環境保全課・農政企画課

所見：関係自治体と連携し、国への早期処分に向けた働きかけを継続していきます。

6. 児童に安全な給食を提供するため、定期的に食材1つあたりの放射性濃度の検査を行います。

担当：教育総務課・子育て支援課

成果指標： 暫定規制数値を超えた件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
維持	0件	0件	0件	0件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	0件	0件	A	令和5年度検査実績は、食材147件（学校給食食材102件、保育所給食食材45件）、牛乳2件であり、結果は全て市ウェブサイトで公開しています。 今後も検査結果については、全て公開していきます。

成果指標： 給食食材の放射性物質濃度測定結果公表割合

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	100%	100%	100%	100%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	100%	100%	A	令和5年度検査実績は、食材147件（学校給食食材102件、保育所給食食材45件）、牛乳2件であり、結果は全て市ウェブサイトで公開しています。 今後も検査結果については、全て公開していきます。

（４）【地球環境】地球に暮らす一員として行動し、

地球環境を思いやる

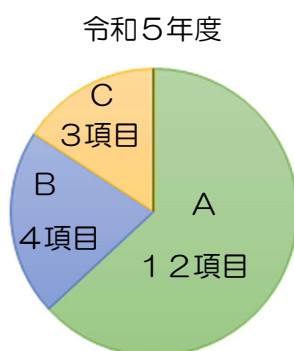
【10年後の目標】

- ・各主体において、エコなライフスタイルやワークスタイルが実践され、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量抑制による地球温暖化防止等、国際的な取り組みを通じて、地球規模の環境活動に積極的に取り組んでいる。
- ・持続的発展が可能な社会を実現するために、大量消費・大量廃棄型から、省資源・省エネルギー型のライフスタイルへの転換が図られている。
- ・廃棄物の発生は抑制され、資源の再利用や再生利用が行われ、資源循環型の社会が構築されている。

関連するSDGs目標



【成果指標の評価】



【所見】

「地球環境」分野では、省エネルギー対策や太陽光発電などの再生可能エネルギーの利活用促進を図り、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進は、関係団体の協力により着実な取り組みができました。

気候変動への適応では、防災意識の向上や田んぼダムの取り組み拡大、排水路整備などソフト・ハード両面での進捗が図られていますが、近年、猛暑や大雨の発生による被害が顕著になっており、あらゆる分野で気候変動対策を進めることが重要となっています。

また、気候変動の要因とされる地球温暖化の防止に向け、引き続き、市民・事業者・市が目的を共有し、率先してできることから始める機運の醸成や社会全体の取り組みへ広げていく施策を展開していきます。

① 省エネルギー対策

1. 市が管理する公用車の効率的な運用を図り、エコドライブや走行距離の削減を図ります。
2. 行政の事務で排出される事務用紙、コピー用紙など資源の削減を推進することにより、環境負荷の低減を図ります。
3. 「クールチョイス」を実践し、電気・ガス・水道の使用により排出されるエネルギーを削減し、環境負荷の低減を図ります。

担当：全庁

所見：全庁的な取り組みとして、「自動車等の効率的利用」「ライフワークバランスの配慮」を重点指針に定め、所管する施設や事務事業における削減や低減に取り組みました。カーボンニュートラル社会の実現に向けて、今後、取り組みを強化していきます。

4. 防犯環境の整備と二酸化炭素排出量の削減を図るため、防犯灯のLED化を図り、犯罪のない明るく住みよい地域づくりを実現します。

担当：防災安全課

成果指標： 防犯灯（LED）設置数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
170 基／年	151 基／年	265 基／年	283 基／年	199 基／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	170 基／年	138 基／年	A	各地区防犯灯のLED化が進んだことにより、実績数は減少していますが、LED防犯灯の設置により夜間における犯罪の防止及び歩行者等の安全が図られています。 LED防犯灯の設置を継続することで、安全・安心な地域社会の実現に努めます。

5. 地球温暖化防止につながる環境に配慮した設備を導入した市民や事業者に対し、補助金を交付します。

担当：環境保全課

成果指標：太陽光発電設備導入量

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
500 k w ／年	419 k w ／年	274 k w ／年	374 k w ／年	315 k w ／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	500 k w ／年	217 k w ／年	C	<p>売電価格が下がったことにより、発電容量を抑え、蓄電池を併設する形態が増えています。</p> <p>支援メニューや補助金額の検討を行います。また、技術進歩に応じた支援制度の拡充なども視野に入れ、導入の促進に努めます。</p>

② 環境配慮型ライフスタイル等の推進

1. 地域の環境団体への支援や市民への啓発等を通じ、廃棄物の適正処理を進め、快適で住みよい生活環境を目指します。

担当：環境保全課

所見：家庭ごみの分け方・出し方カレンダーを作成し、全戸配布及び大崎市ホームページへ掲載を行っております。今年度からごみの分別区分が変更されたことから、引き続き適正処理の啓発を図ると共に、公衆衛生組合連合会等の関係団体と連携しながら、生活環境の向上に努めます。

2. 環境負荷軽減に向けた低炭素社会を構築するため「環境フェア」を開催し、省エネ活動や3Rの普及・啓発を行い、自ら考えて実践する市民を増やします。

担当：環境保全課

成果指標： 環境フェア来場者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	2,500 人／年	0 人／年	0 人／年	650 人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1,200 人 ／年	1,200 人 ／年	A	<p>5年ぶりに、コロナ禍以前の規模で開催することができました。初めての鹿島台地域での開催となり、様々な広報手段により来場者確保に努めました。</p> <p>今後は、多くの方に環境問題への理解を深め、実践していただけるよう、費用対効果も踏まえた開催内容について検討していきます。</p>

3. エコアクション事業（講演やバイオゴーカート試乗など）を通じて、学童期から環境活動に興味を示すよう、啓発を行います。

担当：環境保全課

成果指標： エコアクション実施数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	6校／年	4校／年	8校／年	9校／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	継続	6校／年	A	学校や講師の協力もあり、6校で10回実施しました。 幼少期からの環境配慮への意識づけは重要となりますので、引き続き学校や講師の協力をいただきながら、事業を実施していきます。

③ 地産地消型の再生可能エネルギーの利用促進

1. 木質チップを燃料に使用するなど、バイオマス（動植物から生まれた再利用可能な有機性の資源）を活用した地域循環型のエネルギー供給の仕組みづくりを促進します。

担当：産業商工課

成果指標： 木質チップ利用でのCO₂排出抑制効果

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
86.6万 Kg-CO ₂ /年	67.0万 Kg-CO ₂ /年	3.6万 Kg-CO ₂ /年	17.1万 Kg-CO ₂ /年	17.6万 Kg-CO ₂ /年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	86.6万 Kg-CO ₂ /年	17.4万 Kg-CO ₂ /年	C	令和2年度中は新型コロナウイルス感染症の影響で、木質チップボイラの稼働が停止していましたが、令和3年度から冬季期間を除いて稼働しました。木質チップの安定供給に向けて、事業者と連携していきます。

2. 市民から廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルする仕組みの構築を図り、その燃料を公用車や公共機関、公共工事等への利用を促進します。

担当：産業商工課

成果指標： 廃食用油回収量

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
8,100 L ／年	6,288 L ／年	6,327 L ／年	6,646 L ／年	6,381 L ／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	8,100 L ／年	5,779 L ／年	B	新たに3カ所の回収場所を設置し、市内計36ヶ所で市民回収を実施しました。令和4年度からは、食用油の値上げなどの影響か回収量の減少が見られます。 今後も、廃食油回収業務を通し、燃料の利用促進・活動の浸透に向けて取り組んでいきます。

3. バイオディーゼル燃料を利用し、化石燃料由来の二酸化炭素排出抑制を図り、災害時におけるエネルギーの分散に備えます。

担当：産業商工課

所見：市の公用車のうち3台にバイオディーゼル燃料を使用しています。うち1台は災害時に物資搬送を担当する産業経済部の所有車両とし、エネルギー分散に取り組んでおります。引き続き、バイオディーゼル燃料の利用普及促進を図っていきます。

4. 再生可能エネルギー事業の可能性調査などを行う事業者を支援し、地域の実情に沿った再生可能エネルギーの普及・促進を図ります。

担当：産業商工課

成果指標： 再生可能エネルギーを導入し事業化した件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	0 件	0 件	0 件	0 件
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	0 件	B	事業化の実績はありませんでしたが、事業化に向けた事業者との情報交換や相談対応を行い、相互の連携した取組を継続的に実施しました。 また、民間事業者による鳴子温泉地域での地熱資源量調査や、古川地域バイオマス事業について、相互間の情報共有を行っています。

5. 本市の恵まれたエネルギー資源や自然環境を継承していくため、再生可能エネルギー利用への関心を高める取り組みを進めます。

担当：産業商工課

成果指標： 再生可能エネルギー講演会等参加者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
300 人／年	48 人／年	0 人／年	74 人／年	48 人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	300 人／年	41 人（小学生向け） 18 人（企業向け）	C	市内小学生を対象にはバイオマスに関して、市内事業者を対象には脱炭素経営を題材として研修会を行い、計2回の講演会を実施しました。 今後は、事業者を対象とした講演会実施していきます。

6. 西地区熱回収施設等（ごみ処理施設）から出される余熱エネルギーを活用した地域振興策の普及・促進を図ります。

担当：環境保全課

所見：大崎広域西地区熱回収施設等周辺環境整備推進協議会や江合川かわまちづくり協議会にて、地域の幅広い世代の方々と検討を行い、地域の魅力づくりに繋がるような話し合いを行っています。

7. 豊かな自然環境や生活環境等を保全しながら、調和のとれた再生可能エネルギーの利活用を図るための条例を制定します。

担当：環境保全課

所見：令和5年度は、大崎市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の適用を受けた38事業の事前協議及び届出があり、設置地域の自然環境・生活環境等の保全と再生可能エネルギー設置の調和に努めました。

④ コンパクトなまちづくりの推進

1. 各地域の商業・業務・医療・駅等の都市機能の集積が高い区域を中心に都市づくりを推進し、省資源と環境に配慮した集約型市街地の形成を図ります。

担当：都市計画課

所見：大崎市立地適正化計画に基づき、都市機能や居住の誘導を推進し、都市の低炭素化・環境負荷の小さい都市構造の形成を進めていきます。

⑤ 利用しやすい公共交通ネットワーク等の充実

1. 「通院」「通学」「買い物」等の外出をサポートする公共交通ネットワークを構築し、車社会による二酸化炭素の排出削減を図ります。

担当：まちづくり推進課

成果指標： 廃止代替バス利用者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	11.1万人	9.4万人	9.8万人	9.9万人
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	10万人	10.2万人	A	「通院」、「通学」、「買い物」など、利用者ニーズを踏まえた運行を行いました。 引き続き、利用者ニーズを踏まえた利用しやすい公共交通に向けて、運行事業者と連携するとともに、バス利用に関する情報を発信し利用促進を図ります。また、陸羽東線利活用促進に向け、各駅を拠点とした二次交通としての整備を進めます。

2. 中心市街地の活性化や観光振興を支える公共交通を構築し、多くの人々が利用する“中心市街地循環便”を目指し、車社会による二酸化炭素の排出削減を図ります。

担当：まちづくり推進課

成果指標： 中心市街地循環便利用者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	2.9万人 ／年	2.4万人 ／年	2.4万人 ／年	2.4万人 ／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	2.6万人 ／年	2.7万人 ／年	A	<p>市街地を循環する中心部路線として、通院や買い物利用のほか、通学利用も考慮した運行ルート等の検討を行い、一部ルート変更および新規バス停留所の設置を行いました。</p> <p>引き続き、市街地循環便として住民に利用される運行ルートの検討と住民ニーズを捉えながら、利便性と回遊性の向上に向けた取り組みを進めます。</p>

3. 地域住民と行政の協働により、分かりやすく、利用しやすい、各地域に適した“地域内交通”を確保し整備を行い、車社会による二酸化炭素の排出削減を図ります。

担当：まちづくり推進課

成果指標： 地域内交通の運行を開始した地域の数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
7 地域	6 地域	6 地域	6 地域	6 地域
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	7 地域	6 地域	A	<p>各地域の運営委員会が主体となり、運行事業者と行政が連携し運行を行いました。</p> <p>引き続き、住民、運行事業者等の関係者と意見交換を行いながら、各地域のニーズに合わせた地域内公共交通を検討し、サービスの維持・向上に努めます。</p>

⑥ 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

1. 古川リサイクルデザイン展示館の利用団体と連携を図り、様々なメニューの体験学習を実施し、環境について考え、自発的に行動する市民を増やします。

担当：環境保全課

成果指標： リサイクルデザイン展示館体験教室参加者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,900人／年	1,532人／年	299人／年	415人／年	528人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	694人／年	696人／年	A	時間や開催方法を工夫し、昨年度より168人の増となりました。引き続き、体験教室の実施により環境に配慮した取り組みを行う市民の増加につなげていきます。

2. ごみの分別や減量化を推進、啓発するため、「ごみ収集カレンダー」を作成し、各家庭に配布を行います。

担当：環境保全課

所見：カレンダーをより見やすい内容にし、37,000部を各世帯に配布いたしました。引き続き、公衆衛生組合連合会と連携して、適切な分別とごみ減容化の啓発に努めます。

3. 資源物は分別して、リサイクルステーションへ出すように周知徹底し、リサイクルを推進します。

担当：環境保全課

所見：公衆衛生組合連合会と連携し、適切な分別とリサイクルの推進に努めます。

4. 学校給食の「食べ残し」を減らすことが、食品ロスの低減や環境負荷の減少につながることを伝え、「食べ残し」の減量を図ります。

担当：教育総務課

成果指標： 小中学校の学校給食残食量調査結果

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
6.9%	7.7%	7.2%	9.5%	9.6%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	6.9%	9.4%	B	<p>目標値は達成できませんでしたが、過去2年間と比較し微減しています。献立は味付けや嗜好などに配慮し、残食が減るように工夫をしています。また、栄養士や担任による声かけや食品ロスを含めた食育に取り組んでいます。</p> <p>今後も食品ロスを含めた食育を継続して取り組んでいきます。</p>

⑦ 気候変動への適応

1. 地球温暖化の影響により大規模化している台風や豪雨といった気候変動等への正しい理解と身を守るための知識や技術の習得を目的として、自主防災組織が実施主体となった防災訓練等を行います。

担当：防災安全課

成果指標： 自主防災組織による防災訓練実施回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
120回／年	50回／年	140回／年	130回／年	160回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	120回／年	193回／年	A	年々実施回数が増え、防災意識が浸透しつつあります。 今後も継続して防災意識の啓発を促し、防災訓練の開催を推進します。

2. 講師を派遣し、地域ごとの洪水・土砂災害ハザードマップを活用した啓発を行い、自身が居住する地域の実情の把握と訓練をととした組織等の育成と強化を図ります。

担当：防災安全課

成果指標： 自主防災組織による防災講習実施回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
50回／年	56回／年	38回／年	30回／年	32回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	50回／年	36回／年	B	自然災害が頻発しているため、地域の防災意識が向上しています。 地域防災力の底上げのため、今後も継続して防災知識の向上を促します。

3. 豪雨による洪水被害を緩和するため、水田の貯水機能を活用した「田んぼダム」の取り組みを推進します。

担当：農村環境整備課

成果指標： 田んぼダム推進事業取り組み面積

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
300 ha	0 ha	0 ha	245 ha	817.2 ha
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	300 ha	953 ha	A	<p>令和5年度については、下野目東部地区（古川地域）と田尻西部地区（田尻地域）において実証実験を行ったほか、新たに3組織で取り組みを開始し、令和3年度から合計15組織で取り組みを行いました。また、小牛田農林高等学校より現場研修として受け入れ、県内農業高等学校に勤務する先生方の現地視察も実施しました。</p> <p>引き続き拡充できるよう、宮城県田んぼダム実証コンソーシアム及び関係土地改良区と連携し、田んぼダムに関する情報提供を行い、取組面積の拡大を目指します。</p>

4. 集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、既設水路の浚渫(しゅんせつ)を推進し、水路の断面を最大限に利用し、十分な流量を確保します。

担当：建設課

成果指標： 緊急浚渫事業進捗率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	0%	17%	32%	54%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	77%	77%	A	既設水路の浚渫を行い、十分な断面及び流量が確保され、排水能力が向上しました。 浸水被害軽減のため、緊急浚渫推進事業計画により、水路浚渫を行っていきます。

5. 集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、内水対策として、常襲冠水箇所の排水路整備を実施します。

担当：建設課

成果指標： 排水路改良工事業浸水対策事業進捗率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
100%	88%	55%	56%	64%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	75%	72%	A	排水路整備により流れが悪く滞った状態が解消され、雨水排水の円滑な処理が行われました。 今後は排水路整備計画により整備工事を継続実施していきます。

6. 集中豪雨等による浸水被害の軽減を図るため、公共下水道区域において、雨水管渠(かんきょ)や雨水排水ポンプ場等の整備を行います

担当：下水道施設課

成果指標： 公共下水道事業計画区域内の雨水管渠整備率

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
47.1%	41.3%	41.3%	42.6%	43.5%
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	44.6%	43.5%	A	<p>都市化による保水能力の低下や集中豪雨による浸水被害が多発していることから、令和5年度に大崎市雨水管理総合計画を策定しました。</p> <p>今後は本計画に基づき最優先対策地区及び事業実施中区域の雨水管渠等の整備を計画的に進め、浸水被害の軽減を図っていきます。</p>

（５）【市民参画・協働】世代を超えて環境を学び，伝える

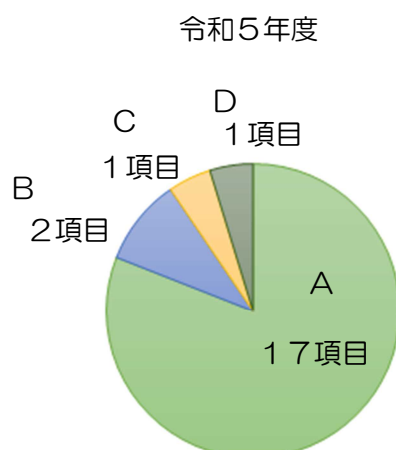
【10年後の目標】

- ・各主体が本市の環境に誇りを持ち，自らが活動に取り組み，情報を発信できる役割を担っている。
- ・各主体に加え，学校，地域団体やNPO等の各種団体を含む全ての人々が，環境保全のために必要な行動を認識し，各自が役割を担い，相互連携を図りながら，自主的かつ積極的な取り組みを推進している。

関連するSDGs目標



【成果指標の評価】



【所見】

「市民参画・協働」分野では，新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け，従前の規模による事業が展開されたほか，休止を契機とした事業内容の見直しを行うなど，実効的な取り組みを図りながら，活動促進につなげていきます。

各地域においては，衛生活動や美化活動に取り組んでいただきましたが，今後の課題として参加者の減少や高齢化などが挙げられておりますので，地域の皆さんと一緒に持続可能な方法等を検討してまいります。

① 環境情報の提供

1. 地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス総排出量を抑制するため、公共施設において毎年度、光熱水量を調査し結果を公表し、「CO₂削減」への取り組みを推進しています。

担当：環境保全課

成果指標： 温室効果ガスの年間排出量

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
17,875 t-CO ₂	28,579 t-CO ₂	28,773 t-CO ₂	25,089 t-CO ₂	25,950 t-CO ₂
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	17,875 t-CO ₂	25,056 t-CO ₂	B	公共施設の光熱水量調査の結果、前年度の排出量を下回りました。 公共施設も含め市全体で2050年カーボンニュートラル実現に向けて、更なる削減に努めます。

② 環境イベントの開催

1. 毎年、環境フェアを開催し、省エネ活動や3Rの普及・啓発を行い、自発的に実践する市民を増やします。

担当：環境保全課

成果指標： 環境フェア来場者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	2,500 人／年	0 人／年	0 人／年	650 人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1,200 人 ／年	1,200 人 ／年	A	<p>5年ぶりに、コロナ禍以前の規模で開催することができました。初めての鹿島台地域での開催となり、様々な広報手段により来場者確保に努めました。</p> <p>今後は、多くの方に環境問題への理解を深め、実践していただけるよう、費用対効果も踏まえた開催内容について検討していきます。</p>

③ 環境教育・環境学習の推進

1. 小学生を対象としたエコアクション事業（実演やバイオゴーカート試乗など）や中学生を対象とした環境講演を継続して実施し、環境について関心を持ち、自ら環境問題について考え、省エネ活動や3Rに取り組む児童生徒を増やします。

担当：環境保全課

成果指標： エコアクション実施数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	6校／年	4校／年	8校／年	9校／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	継続	6校／年	A	学校や講師の協力もあり、6校で10回実施しました。 幼少期からの環境配慮への意識づけは重要となりますので、引き続き学校や講師の協力をいただきながら、事業を実施していきます。

2. 古川リサイクルデザイン展示館の利用団体と連携を図り、様々なメニューの体験学習を実施し、環境について考え、自発的に行動する市民を増やします。

担当：環境保全課

成果指標： リサイクルデザイン展示館体験教室参加者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,900人／年	1,532人／年	299人／年	415人／年	528人／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	694人／年	696人／年	A	時間や開催方法を工夫し、昨年度より168人の増となりました。引き続き、体験教室の実施により環境に配慮した取り組みを行う市民の増加につなげていきます。

3. 出前講座メニューに基づき、市民が主催する学習会等に職員を講師として派遣し、協働によるまちづくりの推進を図ります。

担当：生涯学習課

成果指標： 出前講座派遣件数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
140 件／年	126 件／年	46 件／年	57 件／年	80 件／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	140 件／年	108 件／年	B	<p>新型コロナウイルス感染症の規制緩和により申し込み数が増加し、以前の開催件数に戻りつつあります。</p> <p>今後も感染対策を図りながら事業に取り組めます。</p>

4. 学校教育の場、地域住民の水辺に親しむ憩いの場を創出することを目的に整備された下伊場野水辺の楽校親水公園で、環境学習や自然体験活動を推進し、「子どもの水辺」再発見プロジェクトに取り組めます。

担当：松山総合支所地域振興課

所見：地元小学校生徒による鮭の生態学習や稚魚放流活動に取り組んだほか、親子カヌー教室を行いました。また、外地域の小学校の郊外学習を引き受け、鳴瀬川流域の水生生物調査を行いました。今後も環境学習や自然体験活動を推進し、「子どもの水辺」再発見プロジェクトに取り組めます。

④ 協働による取り組みの推進

1. 市民活動団体（NPO法人）の環境問題に対する関心の高まりから、法人設立の認証や、運営の管理を支援することにより、自立した団体による活発な公益的活動が行われるよう、側面的な支援を行います。市民活動サポートセンターと連携し活力のある団体を育成します。

担当：まちづくり推進課

成果指標： 市民活動サポートセンター来館者数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
増加	2,586 人 ／年	2,917 人 ／年	3,210 人 ／年	4,342 人 ／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	増加	5,378 人 ／年	A	<p>オンラインでの相談受付や研修を行う等、工夫しながら事業を展開しました。また、市民活動団体への訪問調査を実施するなど団体の現状把握に努めました。さらに各種市民団体に対し、活動助成金や、市内で活動するNPO法人に関する情報の提供を行うなどの活動支援を展開しました。</p> <p>今後も市民活動に関する相談の機会や団体間の情報交換の場を提供しつつ、新たな団体の創出につながる事業を積極的に展開していきます。</p>

2. 緒絶川荒川清流化促進協議会が行う、緒絶川や荒川の清掃、環境整備など取り組みを推進します。

担当：環境保全課

成果指標： 緒絶川荒川清流化促進協議会清掃実施回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	2回／年	0回／年	0回／年	0回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	継続	0回／年	D	新型コロナウイルス感染症の流行以降、活動が停滞していることから、今後の取り組みについて協議会役員等と検討を進めていきます。

3. 地域内の市民統一清掃を行い、快適な生活環境を守り、一人ひとりの環境衛生意識の普及・向上を図ります。

担当：環境保全課・岩出山総合支所地域振興課・鳴子総合支所地域振興課

成果指標： 古川・岩出山・鳴子温泉地域市民統一清掃回数

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	2回／年	1回／年	1回／年	1回／年(古川) 1回／年(岩出山) 1回／年(鳴子)
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	2回／年 (古川) 2回／年 (岩出山) 2回／年 (鳴子)	2回／年 (古川) 2回／年 (岩出山) 2回／年 (鳴子)	A	<p>(古川) 春季・秋季とも各行政区で主体的な清掃活動が行われ、可燃物 9.55 トン、不燃物 1.19 トンのごみを収集し、協働による環境保全活動を実践できました。</p> <p>(岩出山) 岩出山地域において主体的に清掃活動を行い、生活環境の整備と環境衛生意識の普及・向上に努めていただきました。今後も一体となった協働の取り組みを進めていきます。</p> <p>(鳴子) 各地区において主体的に清掃活動を行い、生活環境の整備と環境衛生意識の普及・向上に努めていただきました。今後も一体となった協働の取り組みを進めていきます。</p>

4. すばらしい松山地域協議会が実施する「コスモスロード」へのコスモス植栽活動を支援し、通行者に癒しを提供するとともに地域づくりを推進します。

担当：松山総合支所地域振興課

成果指標： コスモスロード植栽事業

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	今後も協議会と一緒に取り組みを進めてまいります。

5. 松山地域で行政区ごとに実施する環境美化活動「クリーンふるさと運動」を支援し、良好な生活環境を維持します。

担当：松山総合支所地域振興課

成果指標： クリーンふるさと運動

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	2回／年	2回／年	2回／年	2回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	2回／年	2回／年	A	各行政区において環境美化活動を実施しました。

6. 不法投棄されやすい地域内林道などを公衆衛生組合連合会が主体となり巡回し、不法投棄のない地域を目指します。

担当：松山総合支所地域振興課

成果指標： ごみ不法投棄巡視

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	13回／年	10回／年	10回／年	5回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	7回／年	7回／年	A	5月～6月、10月～11月の毎週木曜日に林道を巡回し不法投棄されていないか確認しました。

7. 三本木地域では「ラブリバー大作戦」として、河川愛護と水防意識の高揚を図り、河川への感謝と親しみを込め、地域住民の自主参加により清掃活動を実施します。

担当：三本木総合支所地域振興課

成果指標： ラブリバー大作戦

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	0回／年	0回／年	0回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	新型コロナウイルス感染症の流行以降4年ぶりに実施しました。今後も地域一体となって取り組みを進めていきます。

8. 三本木地域では「クリーン大作戦」として、緑豊かな住みよい地域づくりのため、行政区の住民同士の交流連携を深めながら環境美化活動を実施します。

担当：三本木総合支所地域振興課

成果指標： クリーン大作戦

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	三本木地域内全行政区で「クリーン大作戦」として、地域内のゴミ拾いや草刈り等を実施しました。今後も地域と一体となって取り組みを進めていきます。

9. 鹿島台地域では、「ごみ・ゼロ一斉大作戦」として、行政区ごとに実施する環境美化活動を支援します。

担当：鹿島台総合支所地域振興課

成果指標： ごみ・ゼロ一斉大作戦

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	3回／年	3回／年	3回／年	3回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	3回／年	3回／年	A	年に3回、鹿島台地域全域でごみ・ゼロ一斉大作戦を実施し、環境美化に努めました。 今後も地域と一体となって取り組みを進めていきます。

10. すばらしい岩出山地域を創る協議会が実施する「花ロードいわでやま」への植栽活動を支援し、通行者に癒しを提供するとともに地域づくりを推進します。

担当：岩出山総合支所地域振興課

成果指標： 花ロードいわでやま植栽事業

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	約80人が参加して花苗を植栽し、約500メートルの花壇を整備しました。今後も協議会とともに植栽事業を進めていきます。

11. 内川・ふるさと保全隊が実施する清掃活動を支援し、内川の環境美化を推進するとともに地域づくりを推進します。

担当：岩出山総合支所地域振興課

成果指標： 内川清掃活動

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	5回／年	2回／年	2回／年	3回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	4回／年	4回／年	A	毎回40～50人が参加し内川の清掃活動を実施しました。今後も、地域を流れる内川の環境保全活動を継続し、よりきれいな環境を目指している「内川・ふるさと保全隊」の活動を支援していきます。

12. 田尻観光協会と加護坊山沿道の清掃を実施し、環境美化の普及啓発を図ります。

担当：田尻総合支所地域振興課

成果指標： 加護坊山クリーン作戦

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、従来同様関係団体やボランティアも参加して行うことができました。

13. 田尻観光協会と大貫小学校が提携して、蕪栗沼への道路沿いの清掃を実施し、環境美化の普及啓発を図ります。

担当：田尻総合支所地域振興課

成果指標： 蕪栗沼クリーン作戦

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	0回／年	C	鳥インフルエンザ発生により中止となりました。

14. 田尻地域内48衛生組合連合会と、各地域で清掃を実施し、環境美化の普及啓発を図ります。

担当：田尻総合支所地域振興課

成果指標： 地域内清掃の実施

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	各地域でお盆前に道路等の清掃を行いました。今後も田尻地域衛生部の協力のもと継続していきたいと考えています。

15. 田尻地域の衛生部長等が各戸を訪問し、清掃状況等を確認し、衛生指導を行います。

担当：田尻総合支所地域振興課

成果指標： 衛生指導の実施

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	48組合	48組合	48組合	48組合
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	48組合	48組合	A	地域の衛生部において、啓発チラシの配布を実施しました。今後も田尻地域衛生部の協力のもと継続していきたいと考えています。

⑤ 環境教育を支える人材の育成と活躍促進

1. 未来の大崎市を担う人材の育成のため、大崎市が抱える問題やプロジェクトについて、考える機会をつくり、自らが積極的に地域活動に参加する機運を醸成します。

担当：政策課

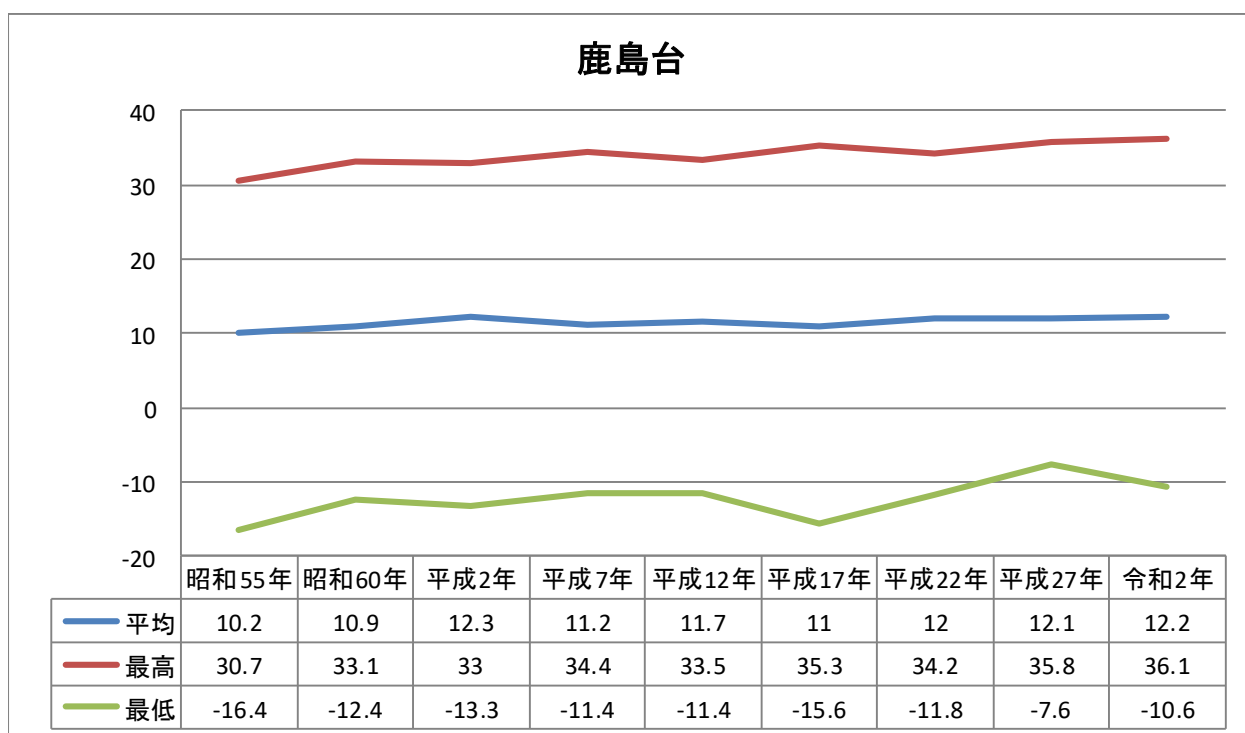
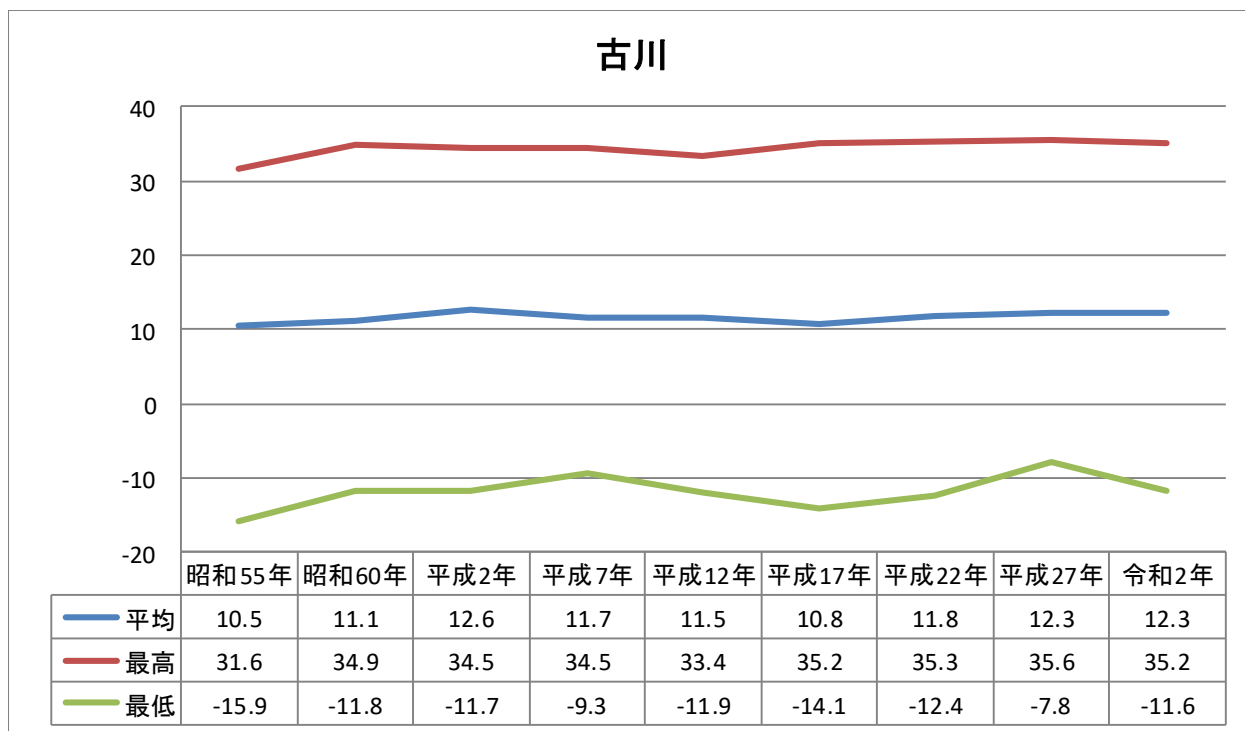
成果指標： 高校生を対象とした人材育成プログラム

目標	令和元年度の 状況	実績（令和2年度～令和4年度）		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
継続	1回／年	1回／年	0回／年	1回／年
対象年度	年度目標	実績	評価	評価の理由・今後の進め方
令和5年度	1回／年	1回／年	A	<p>令和5年度は令和4年度から引き続き「おおさき宝さがし未来トーク」との共同開催を行った。市内8校42名により9グループに分かれて、ワークショップ形式により「本市のシティプロモーションについて」をテーマとして活発な意見交換・発表がなされ、貴重な意見をいただいたところであります。</p> <p>市政への関心を高めるきっかけづくりと積極的に地域活動への参加を促す重要な事業と位置づけ、話し合いの手法などを工夫しながら継続して取り組んでまいります。</p>

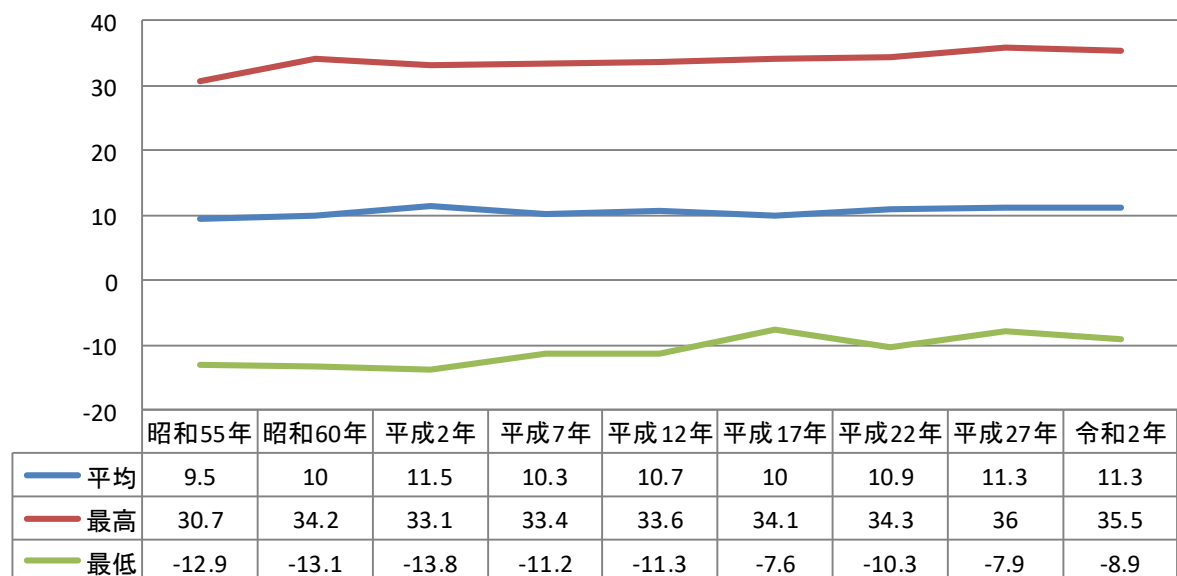
参考資料

1. 気温（5年毎の平均気温，最高気温，最低気温の推移）

（単位：度）



川渡

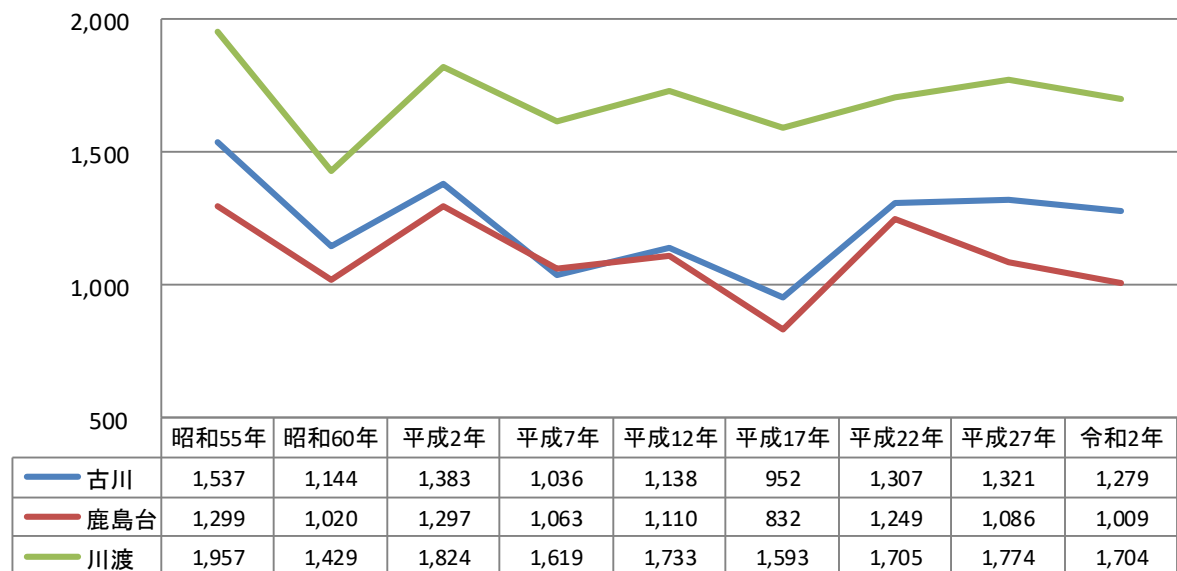


資料：気象庁ホームページ

2. 降水量（5年毎の年間降水量）

（単位：ミリメートル）

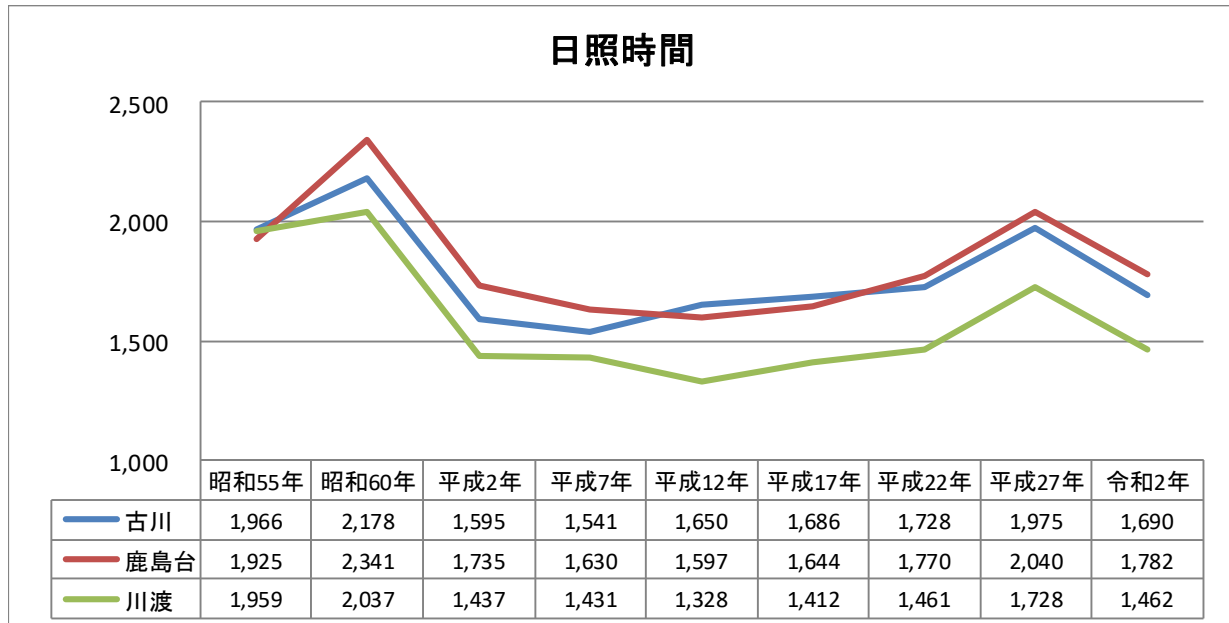
年間降水量



資料：気象庁ホームページ

3. 日照時間（5年毎の年間日照時間）

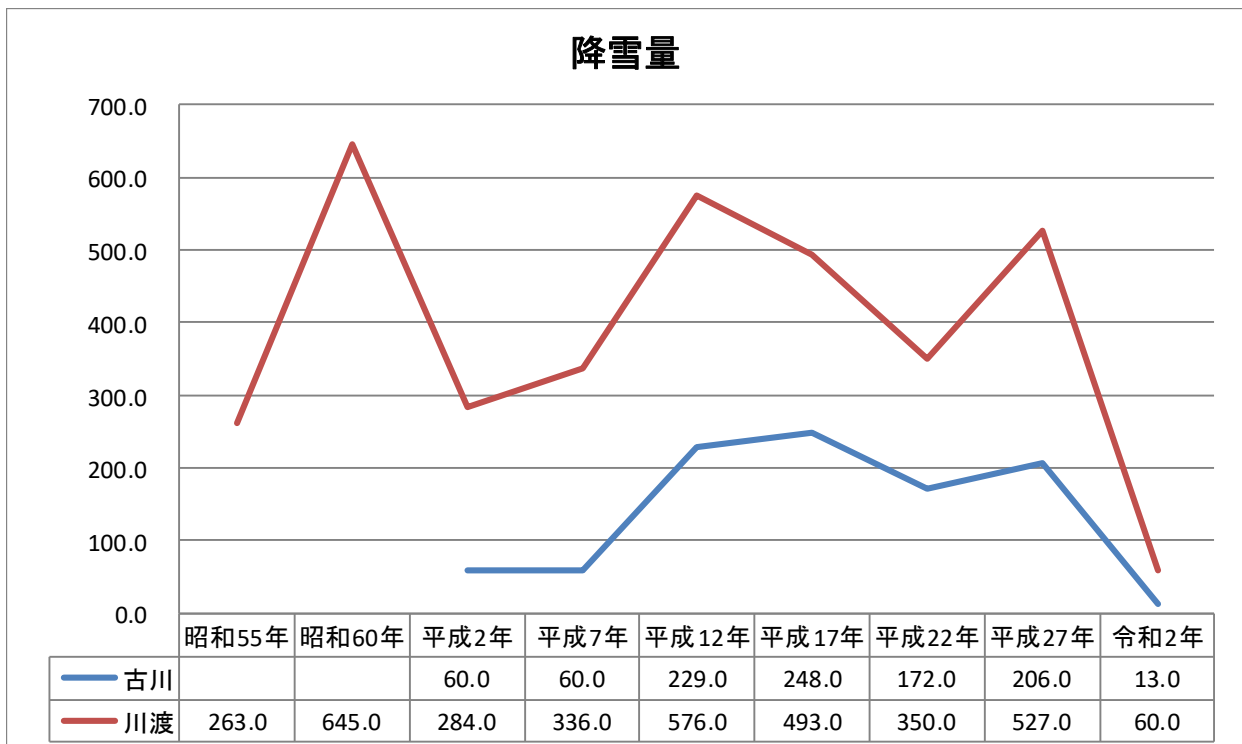
（単位：時間）



資料：気象庁ホームページ

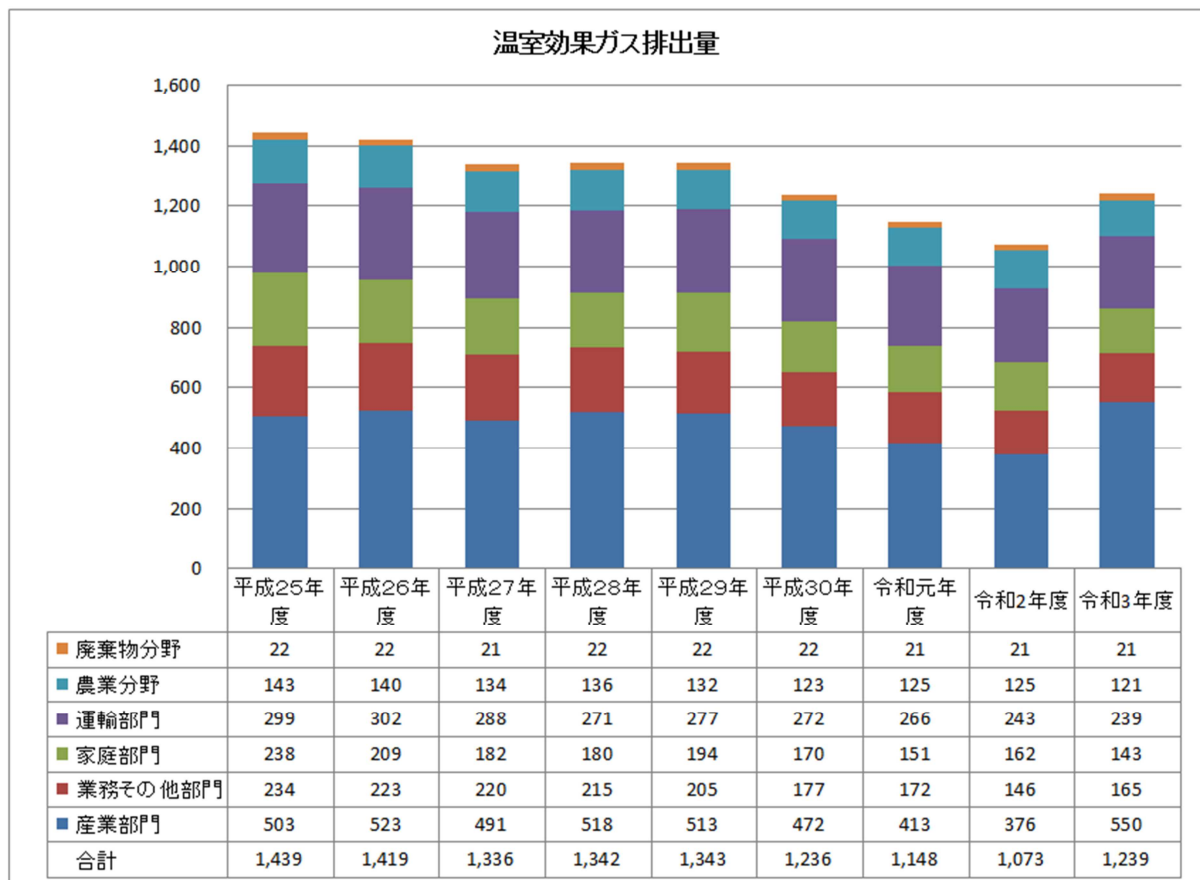
4. 降雪量（5年毎の寒候年※降雪量）

（単位：センチメートル）



5. 温室効果ガス排出量

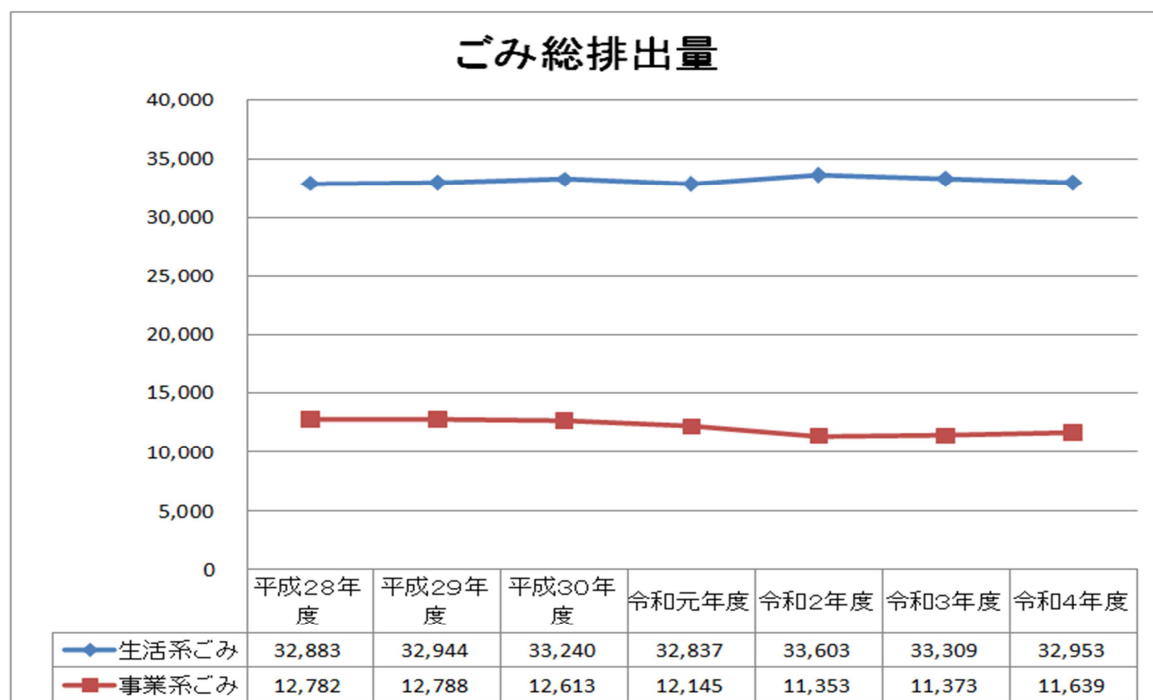
(単位：万トン)



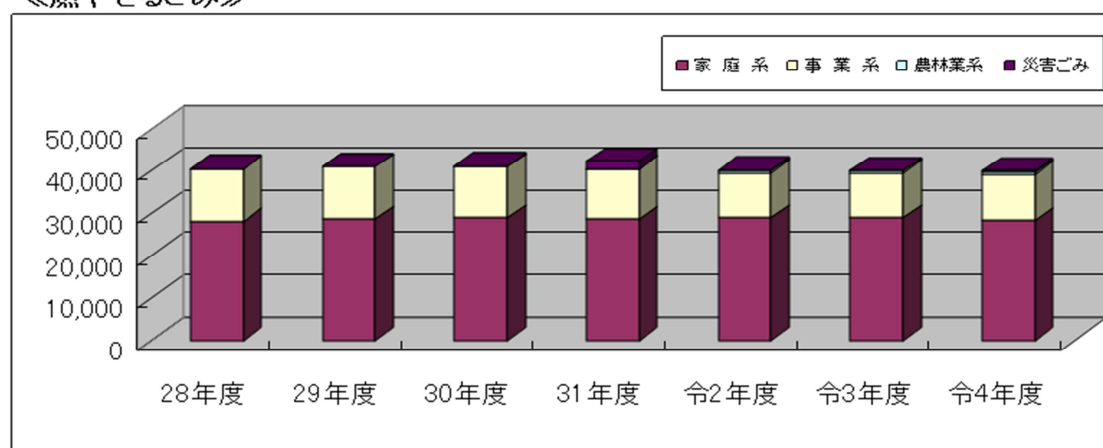
※令和4年度データ未集計

6. ごみ総排出量

(単位：トン)



《燃やせるごみ》



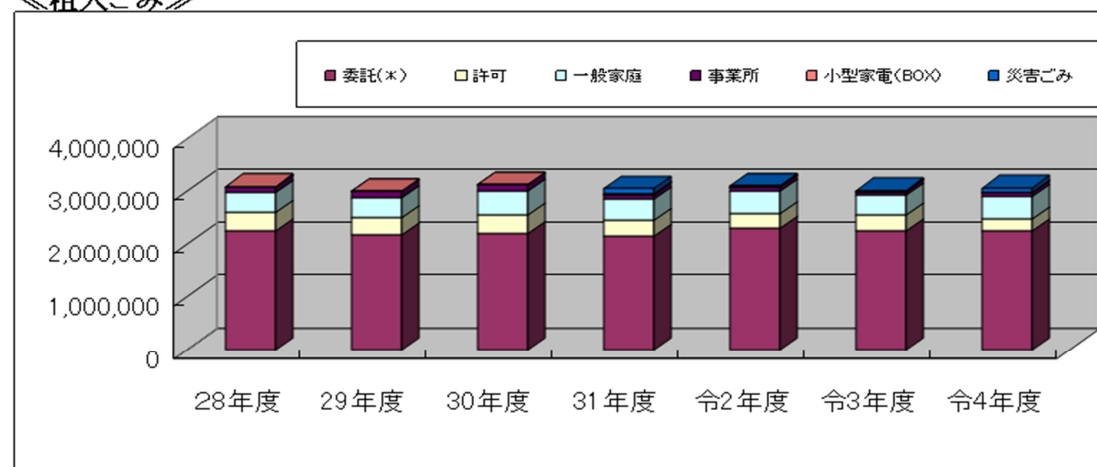
(単位:t)

	28年度	29年度	30年度	31年度	令2年度	令3年度	令4年度	合計
家庭系	28,243	28,639	28,977	28,753	28,973	28,977	28,337	200,898
事業系	12,332	12,343	12,100	11,745	10,578	10,603	10,908	80,609
農林業系	0	0	41	7	415	412	422	1,296
災害ごみ	0	0	0	1,765	286	44	307	2,403
合計	40,574	40,982	41,118	42,269	40,252	40,036	39,974	285,206

生活系ごみ

事業系ごみ

《粗大ごみ》



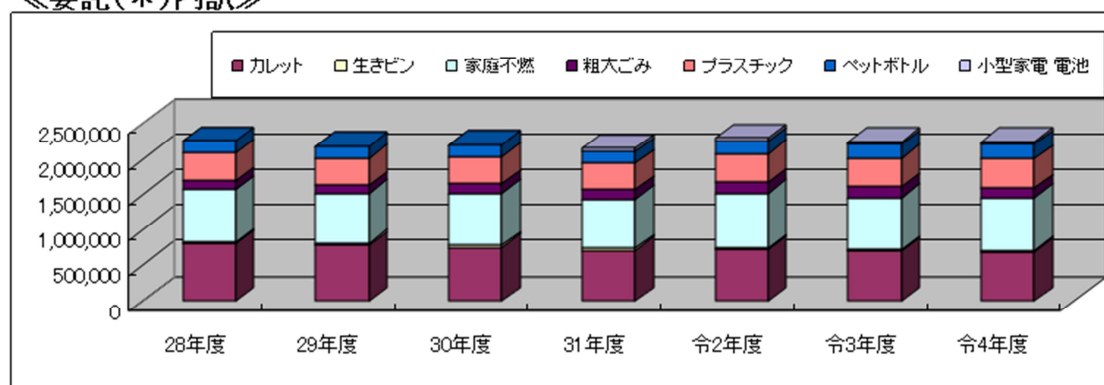
(単位:kg)

	28年度	29年度	30年度	31年度	令2年度	令3年度	令4年度	合計
委託(*)	2,259,100	2,178,760	2,206,410	2,147,480	2,295,030	2,246,920	2,247,500	15,581,200
許可	344,010	323,950	352,590	296,400	281,920	290,790	236,800	2,126,460
一般家庭	373,180	379,050	435,530	394,200	425,060	379,840	415,930	2,802,790
事業所	106,300	123,010	119,350	97,520	80,040	67,050	71,660	664,930
小型家電(BOX)	2,866	3,994	5,247	4,697	4,382	3,283	2,883	27,352
災害ごみ	0	0	0	116,640	1,650	23,410	86,350	228,050
合計	3,085,456	3,008,764	3,119,127	3,056,937	3,088,082	3,011,293	3,061,123	21,430,782

生活系ごみ

事業系ごみ

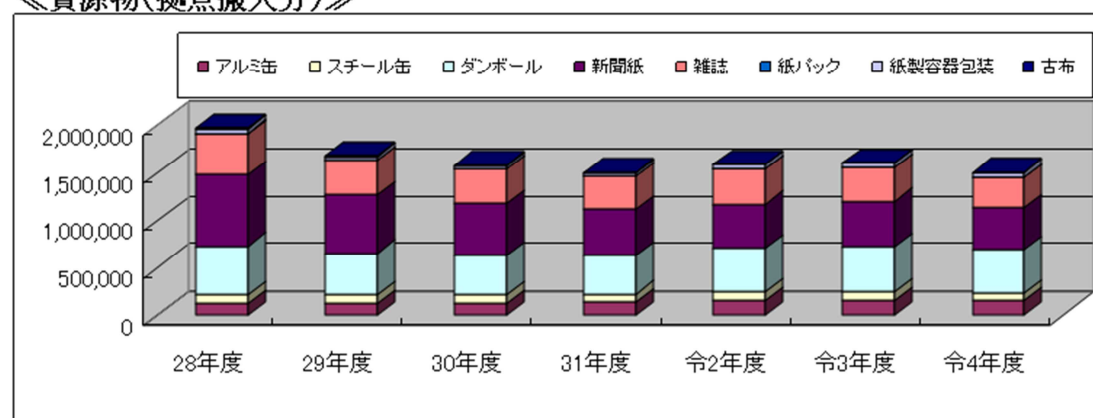
《委託(*)内訳》



(単位:kg)

	28年度	29年度	30年度	31年度	令2年度	令3年度	令4年度	合計
カレット	800,420	787,140	753,410	714,570	717,220	697,920	693,510	5,164,190
生きビン	30,110	26,530	27,300	22,820	24,145	20,520	19,490	170,915
家庭不燃	740,020	707,830	736,470	702,420	781,020	738,350	740,550	5,146,660
粗大ごみ	125,250	116,320	142,390	128,850	155,680	152,100	141,240	961,830
プラスチック	387,570	375,380	378,320	379,470	400,850	407,890	412,210	2,741,690
ペットボトル	175,730	165,560	168,520	167,050	181,070	192,650	200,350	1,250,930
小型家電 電池	0	0	0	32,300	37,930	37,490	40,150	147,870
合計	2,259,100	2,178,760	2,206,410	2,147,480	2,297,915	2,246,920	2,247,500	15,584,085

《資源物(拠点搬入分)》

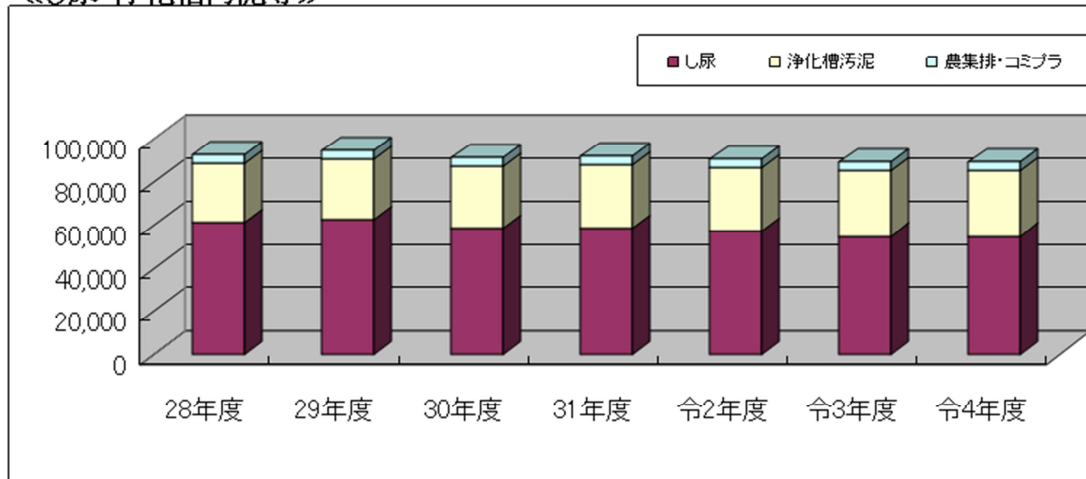


(単位:kg)

	28年度	29年度	30年度	31年度	令2年度	令3年度	令4年度	合計
アルミ缶	129,415	130,825	131,910	136,550	155,630	160,030	154,530	998,890
スチール缶	91,880	90,025	87,415	88,380	92,310	88,300	83,555	621,865
ダンボール	509,223	433,475	406,404	403,960	455,152	472,426	457,335	3,137,975
新聞紙	755,037	614,414	556,208	488,440	468,324	482,290	442,392	3,807,105
雑誌	433,081	367,536	361,739	348,202	370,535	359,417	317,732	2,558,242
紙パック	3,560	3,030	2,710	2,630	3,870	3,610	3,700	23,110
紙製容器包装	45,540	37,710	36,690	37,583	43,342	45,220	47,988	294,073
古布	2,270	1,140	1,410	1,580	1,710	1,420	1,290	10,820
合計	1,970,006	1,678,155	1,584,486	1,507,325	1,590,873	1,612,713	1,508,522	11,452,080

生活系ごみ

《し尿・浄化槽汚泥等》



(単位:kg)

	28年度	29年度	30年度	31年度	令2年度	令3年度	令4年度	合計
し尿	61,038	62,544	58,303	58,250	56,979	54,770	54,723	406,607
浄化槽汚泥	27,668	28,220	28,757	29,582	29,597	30,390	30,656	204,869
農集排・ゴミプラ	3,754	3,789	3,892	3,858	4,011	3,934	3,913	27,150
合計	92,459	94,554	90,952	91,689	90,587	89,094	89,292	638,626

8. 公害苦情件数

(単位：件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大気汚染	2	6	4	4	7	4	8
水質汚濁	11	4	8	9	10	9	18
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0
騒音	11	7	13	11	11	8	12
振動	7	7	2	1	1	2	3
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	1
悪臭	5	15	23	14	12	9	7
その他	361	336	390	339	400	310	360
計	397	375	440	378	441	342	409



大崎市

Osaki City

発行年月／令和 年 月

編 集／大崎市市民協働推進部環境保全課

〒989-6188

宮城県大崎市古川七日町1番1号

TEL:0229-23-6074 FAX:0229-23-2427

Email: kankyo@city.osaki.miyagi.jp